

September 2021
NHK Symphony Orchestra, Tokyo

**PHIL
HAR
MONY**



感染症予防対策についての取り組み

みなさまに安心して演奏をお楽しみいただけるように、
以下の感染症予防対策について、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- 会場内では、必ずマスクを着用し、手洗い、手指の消毒、咳エチケットにご協力ください。
- 感染予防のため休憩中も含め、客席内ではご自身のお座席以外への着席はご遠慮ください。
- 入退場時および会場内では、まわりの方々と距離を確保した上で行動くださいますよう、ご協力をお願いいたします。また、混雑緩和のために入退場時に、制限をさせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 当日、チケット半券のもぎりは、係員の確認後、お客様ご自身でお願いいたします。
また、プログラムは所定の場所からお客様ご自身でお持ちください。
- 政府や自治体によるイベント開催要件に変更があった場合は、チケット販売の一時停止や入場者数上限の設定等を行います。
- ロビー等では大きな声での歓談はお控えください。
- 「ブラボー」等の掛け声はお控えください。
- サイン会は実施しません。また、楽屋口での出演者の入待ち・出待ちはお断りいたします。また出演者への面会やプレゼントもお断りいたします。
- 万が一、ご来場のみなさまの中から新型コロナウイルス感染者が発生した場合には、保健所などの公的機関へチケット購入時にいただいたお客様の情報を提供する場合がございます。またその場合、複数枚をご購入いただいた方には、同伴者など、当日ご来場いただいた方の連絡先をお伺いいたします。あらかじめご承知おきください。

-
- 喫茶コーナーは休止しております。
 - 会場内でのお食事はお控えください。また持ち込みもご遠慮ください。
 - クロークは休止しております。
 - ブランケット等の貸し出しサービスは休止いたします。必要に応じて、防寒の備えをお勧めいたします。
 - 会場内で他の公演のチケット販売は行いません。またCD等の販売もございません。

-
- 会場内のドアノブや座席の手すりなどはあらかじめ消毒を実施します。
 - 会場内の常時換気、開場中および休憩中の客席扉の開放など空気の入替えに努めます。
 - スタッフもマスクの着用等、ご来場のみなさま同様に感染予防の対策を行います。また、業務の内容により、フェイスシールドやビニール手袋の着用をさせていただきます。
 - 厚生労働省による「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)」の活用を推奨いたします。

PHILHARMONY

CONTENTS

SEPTEMBER 2021

9

- 6 [公演プログラム] Ikebukuro Program A
10 [公演プログラム] Program B
15 [公演プログラム] Ikebukuro Program C
19 [シリーズ] **N響百年史** | 第21回 | 松竹、日露交驩管絃楽演奏会を仕切る 片山杜秀
- 23 10月定期公演の聴きどころ—公演企画担当者から
25 チケットのご案内(定期公演 2021年9月~2022年6月)
26 2021-22定期公演プログラム
29 各地の公演
33 NHK交響楽団メンバー
34 特別支援・特別協力・賛助会員
38 曲目解説執筆者 / Information
39 みなさまの声を聞かせください!
40 NHK SYMPHONY ORCHESTRA, TOKYO Members
41 The Subscription Concerts Program 2021-22
44 役員等・団友

お客様へのお願い



公演中は携帯電話、
時計のアラーム等は
必ずお切りください



演奏は最後の余韻まで
お楽しみください



場内での録画、録音、
写真撮影は固くお断り
いたします



私語、パンフレットを
めくる音など、
物音が出ないように
ご配慮ください



演奏中の入退場は
ご遠慮ください



補聴器が
正しく装着されているか
ご確認ください

40
40 years of Joy



世界は
たいせつなもので
あふれている。

BMW Japanができて40年。これからも日本の人々のために、あなたの大切なものと、前へ、未来へ。
この先もずっと、この世界を駆けぬける喜びをとどけて参ります。

【お問い合わせ】BMW カスタマー・インタラクティブ・センター 0120-269-437 平日9:00am~7:00pm、土日祝9:00am~6:00pm 年中無休。

FOR MORE
INFORMATION

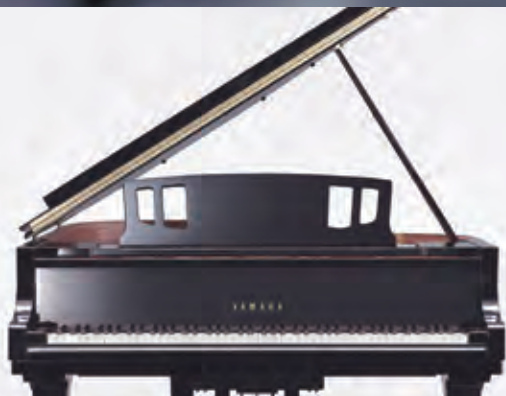


喜怒哀楽を語りつくそう。

感情のあやを、想いのひだを、音に宿して語りうること。

C3X *espressivo*、求めた表現力は、心と同じ繊細さ、広大さ。

C3X *espressivo*



弾性に優れ、音色の幅を広げるハンマーや、木材自体の響きを引き出す曲練支柱など、プレミアムピアノの開発で培われた技術を結集したほか、響板にはヨーロッパスプルースを使用するなど素材も厳選。仕上げの整音・整調工程にはより多くの時間をかけ、一台一台丁寧に、緻密な調整を行うことで、C3X *espressivo*ならではの多彩な表現力や豊かな音を実現しました。

GRAND PIANO C3X *espressivo*

希望小売価格 3,630,000円
(税抜価格 3,300,000円)



C3X *espressivo* WEB サイト

● ヤマハピアノ・電子ピアノホームページ <https://jp.yamaha.com/piano/>

● ヤマハピアノのお問い合わせは、お客様コミュニケーションセンター

ピアノご相談窓口 ☎0570-003-808 営業時間:月曜~金曜10:00~17:00(祝日およびセンター指定休日を除く)

株式会社ヤマハミュージックジャパン



美しい国の、美しい一日がある。



PALACE HOTEL TOKYO

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-1-1 tel 03-3211-5211 (代表) www.palacehoteltokyo.com


LEADING
HOTELS


Forbes
TRAVEL GUIDE

Special Thanks



NHK SYMPHONY ORCHESTRA T O K Y O

特別支援


With Special Support of

岩谷産業株式会社

Iwatani Corporation

 三菱地所株式会社

Mitsubishi Estate Co., Ltd.

 みずほ銀行

Mizuho Bank, Ltd.

公益財団法人 渋谷育英会

Shibuya Scholarship Foundation

NHK交響楽団は上記の各社から特別支援をいただいております。

2020年2月、ウィーン・コンツェルトハウスにて
©Lukas Beck

PROGRAM

第1938回 東京芸術劇場

9/25(土) 6:00pm

9/26(日) 2:00pm

池袋

A

Concert No.1938 Tokyo Metropolitan Theatre

September

25(Sat) 6:00pm

26(Sun) 2:00pm

指揮
conductor

沼尻竜典
Ryusuke Numajiri

クラリネット
clarinet

伊藤 圭★
Kei Ito★

コンサートマスター
concertmaster

伊藤亮太郎
Ryotaro Ito

モーツァルト

クラリネット協奏曲 イ長調 K. 622 [27']

- I アレグロ
II アダージョ
III ロンド:アレグロ

— 休憩(20分) —

マーラー

交響曲 第1番 二長調「巨人」[55']

- I ゆっくりと、引きずるように、自然音のように
II 力強い動きをもって、しかし速すぎずに
III 厳粛に悠然と、引きずらずに
IV 嵐のように速く

★当初予定のソリストから変更になりました。

Wolfgang Amadeus Mozart

(1756–1791)

Clarinet Concerto A Major K. 622

- I Allegro
II Adagio
III Rondo: Allegro

— intermission (20 minutes) —

Gustav Mahler (1860–1911)

Symphony No. 1 D Major “Titan”

- I Langsam. Schleppend. Wie ein Naturlaut
II Kräftig bewegt, doch nicht zu schnell
III Feierlich und gemessen, ohne zu schleppen
IV Stürmisch bewegt

★ The soloist has changed from original plan.

後援:豊島区

Under the auspice of: Toshima City

沼尻竜典(指揮)



沼尻竜典は桐朋学園の三善晃門下の逸材として10代から作曲、ピアノ、指揮で頭角を現した。N響とは1991年1月の「若い芽のコンサート」で初共演、その後はなぜか定期公演には縁がなかった。「桐朋在学中は『齋藤指揮法の基礎が習得出来ていない』と言われ、デビュー後も人気評論家に『やりたいことが良くわからない』と批判されるなど、必ずしも幸せなスタートではありませんでした」。淡々と回想するが、

20代末の沼尻を取材したとき「僕は自分の思いつきを押し付けたりせず、作曲家の言いたいことを下ろす“いたご”役に徹していきたいのです」と語ったのが強く印象に残っている。びわ湖ホールでは1998年開館時から初代芸術監督の若杉弘を補佐、2007年に第2代に就いた。2013～2017年はドイツの名門リューベック歌劇場音楽総監督を兼務。2017～2020年にはワグナー《ニーベルングの指環》4部作の西日本初のツィクルスをミハエル・ハンペ演出で実現。最終年の《神々のたそがれ》はコロナ禍に伴う無観客上演の動画配信が延べ41万回強のアクセスを記録した。オペラのマエストロの貫禄をすっかり身につけたタイミングでのN響定期デビュー。「《交響曲第1番》は若いマーラーの純粋な野心、オペラ指揮者ならではの歌心が溢れた名曲で、今の若いN響にもぴったりだと思います」の言葉に、自身の横顔も重ねているようだ。

[池田卓夫／音楽ジャーナリスト]

伊藤 圭(クラリネット)



宮城県出身。高校よりクラリネットを始める。東京藝術大学卒業後の2004年、第6回日本クラリネットコンクールで第1位を受賞する。2006年には第74回日本音楽コンクール入選。2012年、東京オペラシティリサイタルシリーズ「B→C バッハからコンテンポラリーへ」に出演し、内田祥子《じゅげむじゅげむ〜クラリネット独奏のための〜》、尾高惇忠のクラリネットとピアノのための《幻想曲》を初演したほか、

2014年に東京藝大「創造の森」においてユン・イサン《クラリネット協奏曲》のソリスト、2019年には「天皇陛下御即位30年奉祝感謝の集い」での特別奉祝演奏としてモーツァルト《クラリネット協奏曲》のソリストを務めた。これまでにクラリネットを千石進、日比野裕幸、野田祐介、山本正治、三界秀実、村井祐児に師事。藝大フィルハーモニア、東京都交響楽団を経て、2011年よりNHK交響楽団首席奏者。2021年のN響5月公演では、尾高忠明指揮のもとモーツァルト《4つの管楽器と管弦楽のための協奏交響曲》のクラリネット・ソロを務めた。東京音楽大学兼任准教授、東京藝術大学、国立音楽大学講師として後進の指導にもあたる。

Program Notes | 小宮正安

「一時代の終焉^{しゆうえん}と始まり」。ウォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756~1791)の場合は18世紀から19世紀、グスタフ・マーラー(1860~1911)の場合は19世紀から20世紀への転換という意味において、そう言えるだろう。また2人とも、伝統的な国際都市だったウィーンと密接な関係を持ち、この街からさまざまな影響や刺激を受けた。さらにモーツァルト作品はイ長調、マーラー作品はニ長調といういわば兄弟のような調性。誕生の時期こそ異なれど、2つの作品の間には見えない糸が張られているかのようだ。

モーツァルト

クラリネット協奏曲 イ長調 K. 622

1791年、35歳で世を去るモーツァルトが、死の約1か月前に書いた1曲。こうした経緯や澄み切った美しさから、この曲は彼の短すぎた人生や、暮れ行く18世紀の響きを宿した辞世の作のようにも言われてきた。

だが最近の研究によれば、晩年のモーツァルトはこれまで伝えられていたような貧困や絶望^{あえ}に喘いでいたのではなく、むしろ新時代に向かって意気揚々と活動を始めていた。そう考えてみると、この《クラリネット協奏曲》も違った見方ができないか？

例えば、クラリネットを独奏に用いるという試み。クラリネットは元々、軍楽隊用の楽器であって、モーツァルトの時代には改良の途上にあり、この協奏曲も「バセット・クラリネット」という発明されたばかりの楽器のために書かれている(本日の演奏でもこの楽器が用いられる)。そんなバセット・クラリネットを特注で製作させ、演奏していたのが、ウィーンを中心に活躍していた名クラリネット奏者のアントン・シュタードラー(1753~1812)。彼はモーツァルトとも親しく、モーツァルト自身シュタードラーのクラリネット演奏に魅了され、当協奏曲を書く。速い指回しや跳躍、息の長い歌い回し等の技巧が、独奏クラリネットに散りばめられているのも当然だろう。

モーツァルトの歌心が、ソナタ形式の中に溢れ出る長大な第1楽章。独奏クラリネットの独白に、オーケストラがそっと寄り添う第2楽章。楽しさと儂^{はかな}さが交差するメロディを中心に、さまざまなメロディが浮かんで消えてゆくロンド形式の第3楽章。極限まで音を切り詰めながら、逆に豊かな音楽が出現するという、モーツァルト後期ならではの鮮烈な試みが溢れている。

作曲年代	1791年
初演	1791年10月? ブラハ?
楽器編成	フルート2、ファゴット2、ホルン2、弦楽、クラリネット・ソロ

マーラー

交響曲 第1番 二長調「巨人」

《交響曲第1番》として知られているマーラーの作品には、複雑な成立史がある。「交響詩」として初演された後、度重なる改訂を経て「2部の音詩〈巨人〉」、「音詩〈巨人〉」、「交響曲」へと変容を遂げる。そしてさらなる修正を経て、1899年に出版された際に「交響曲第1番」という名称になった。改訂作業の例を挙げると、5つの楽章の中から第2楽章が削除され、全体が4楽章構成になった。オーケストレーションのそこかしこに手加わり、超巨大編成に発展した。そして、各楽章につけられていた標題や、「巨人」というタイトルまでもが撤回され（当初は各楽章に青年の懊悩おうのうと勝利を示唆する説明が付けられており、「巨人」という題名自体、ドイツ・ロマン派の文学者ジャン・パウロ〔1763～1825〕の同名の小説を基にしている）、交響曲という絶対音楽への転換がおこなわれた。

背景には、ヨハネス・ブラームス（1833～1897）の《交響曲第1番》への意識があったことは間違いない。楽都ウィーンにあえて身を置き、試行錯誤を経ながら、苦悩から勝利へという19世紀的な交響曲をついに完成させたブラームス。そんな彼のひそみに、ウィーンで学生時代を過ごし、やがてこの街で指揮者として活躍するマーラーも倣ならった形である。さらにブラームスが私淑していたローベルト・シューマン（1810～1856）の《交響曲第1番「春」》に登場する、懊悩を突破する上昇音型も、そのまま第1楽章と第4楽章の大詰めに採り入れられている。

ただし元が交響詩だったことから分かるように、当作品はブラームスの宿敵とされたりヒャルト・ワーグナー（1813～1883）からの影響も色濃い。極端なまでの音の遠近感、音色や音量を通じて、身悶えるような恋愛体験を反映させた私小説的な内容を、聴き手にこれでもかと訴えかける姿勢。そして、自作の歌曲や民謡の旋律を随処に強調することで、音楽と文学の融合を図ろうとする試み等々である。

長大な序奏と変形したソナタ形式の中に、希望と不安が混じり合う第1楽章。威勢のよい低音の反復の上に、音のエネルギーが炸裂する第2楽章。悲哀と諧謔かいぎやくが入り混じった葬送行進曲風の第3楽章から引き続き、喜怒哀楽が爆発する第4楽章。西洋音楽の伝統を集約し、新たな時代へと解き放った青年マーラーの衝撃作に他ならない。

作曲年代	(交響曲版へ至る改訂作業を含む)1884～1896年
初演	[交響詩版]1889年11月20日、ブダペスト、ブダペスト・フィルハーモニー管弦楽団、作曲家自身の指揮 [交響曲版]1896年3月16日、ベルリン、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、作曲家自身の指揮
楽器編成	フルート4(ピッコロ3)、オーボエ4(イングリッシュ・ホルン1)、クラリネット4(Esクラリネット2、バス・クラリネット1)、ファゴット3(コントラファゴット1)、ホルン7、トランペット5、トロンボーン4、チューバ1、ティンパニ2、大太鼓、シンバル、サスペンデッド・シンバル、トライアングル、タムタム、シンバル付大太鼓、ハープ1、弦楽

PROGRAM

B

第1937回 サントリーホール

9/15 水 7:00pm

9/16 木 7:00pm

Concert No.1937 Suntory Hall

September

15 (Wed) 7:00pm

16 (Thu) 7:00pm

指揮
conductor

鈴木秀美*
Hidemi Suzuki*

コンサートマスター
concertmaster

白井 圭
Kei Shirai

バッハ

組曲 第3番 二長調 BWV1068 [20']

- I 序曲
- II アリア
- III ガヴオット I-II
- IV プーレ
- V ジーグ

C. P. E. バッハ

シンフォニア 変ロ長調 [12']*

- I アレグロ・ディ・モルト
- II ポーコ・アダージョ
- III プレスト

C. P. E. バッハ

シンフォニア 二長調 [11']*

- I アレグロ・ディ・モルト
- II ラルゴ
- III プレスト

— 休憩 (20分) —

Johann Sebastian Bach (1685–1750)
Suite No. 3 D Major BWV1068

- I Overture
- II Air
- III Gavotte I-II
- IV Bourrée
- V Gigue

Carl Philipp Emanuel Bach
(1714–1788)

Sinfonia B-flat Major*

- I Allegro di molto
- II Poco adagio
- III Presto

Carl Philipp Emanuel Bach
Sinfonia D Major*

- I Allegro di molto
- II Largo
- III Presto

— intermission (20 minutes) —

ハイドン 交響曲 第98番 変口長調 Hob. I-98 [28']

- I アダージョーアレグロ
- II アダージョ
- III メヌエット：アレグロトリオ
- IV 終曲：プレスト

★当初予定の出演者・曲目から変更になりました。

Franz Joseph Haydn (1732-1809) Symphony No. 98 B-flat Major Hob. I-98

- I Adagio-Allegro
- II Adagio
- III Menuet: Allegro-Trio
- IV Finale: Presto

★ The performer and program have changed from the original plan.

Performing parts based on the critical edition Carl Philipp Emanuel Bach: The Complete Works (www.cpebach.org) were made available by the publisher, the Packard Humanities Institute of Los Altos, California.

Artist Profile

鈴木秀美 (指揮)



1957年神戸生まれ。チェロを井上頼豊、安田謙一郎、指揮を尾高忠明、秋山和慶に師事。桐朋学園大学卒業後は、デン・ハーグ王立音楽院でアンナー・ビルスマに師事した。20世紀最後の16年間はオランダとベルギーに居を置き、フランス・ブリュッヘン率いる18世紀オーケストラ、シグスヴァルト・クイケン率いるラ・プティット・バンドのチェロ奏者を歴任。1994年から2000年に帰国するまではブリュッセル王立音楽院バロック・チェロ科の教授も務めた。また鈴木雅明が主宰するバッハ・コレギウム・ジャパンでは創立から2014年まで首席奏者を務め、バッハの全宗教作品の通奏低音を演奏。内外を通してソリストとしても活躍し、数多くリリースしたCDは、レコード・アカデミー賞(協奏曲部門)、フランスのディアパゾン金賞などを受賞している。指揮者としての活躍も著しく、2001年には古典派を専門とするオーケストラ・リベラ・クラシカを結成して年2~3回の公演を行い、自身のレーベル「アルテ・デラルコ」からライブ録音を続々とリリース。日本各地のオーケストラにも多数客演し、海外からもたびたび招かれている。2013年より山形交響楽団の首席客演指揮者を務め、2021年4月、神戸市室内管弦楽団の音楽監督に就任した。N響とは今回が初の共演となる。

[柴田克彦／音楽評論家]

Program Notes | 久保田慶一

今回のプログラムに登場するのはヨハン・セバスティアン・バッハ(1685~1750)、カール・フィリップ・エマヌエル・バッハ(1714~1788)、フランツ・ヨーゼフ・ハイドン(1732~1809)。3人の誕生年は1685年、1714年、1732年、そして演奏される曲の成立も1731年頃、1773年、1775~1776年、1792年頃。J. S. バッハからハイドンへ、つま

りバロック、前古典派、そして古典派へという音楽史の流れが、鈴木秀美指揮のN響が奏でる音楽で迎えることができるわけだ。通奏低音楽器としてのチェンバロは、バッハ父子からハイドンまでの間も健在である。

バッハ

組曲 第3番 二長調 BWV1068

組曲はさまざまな舞曲からなる楽曲で、鍵盤楽器、室内楽、管弦楽のために作曲された。一般的には「序曲」とも呼ばれ、特に管弦楽のための組曲は、祝祭行事などの冒頭を飾る曲として演奏された。そのため編成も祝祭的で、特に《第3番》は3本のトランペット、ティンパニ、2本のオーボエが参加して、本日の演奏会の開始にふさわしいだろう。

バッハは1723年からライプツィヒのトーマス教会のカントル(合唱長)となり、就任後の5年ほどは毎日曜日の礼拝音楽の提供に追われた。しかし1729年からはライプツィヒ大学の学生や卒業生らによって編成されたコレギウム・ムジクムの指揮を担うようになる。この組曲もおそらくコレギウム・ムジクムによって、何らかの機会に演奏されたことであろう。

さて、バッハ家の次男カール・フィリップ・エマヌエル(C. P. E. バッハ)は1731年にライプツィヒ大学に入学し、コレギウム・ムジクムでは通奏低音奏者あるいはソリストとして活躍した。そして1734年からはライプツィヒから北北東200キロ、ベルリンの東80キロにある、オーデル河畔の町フランクフルトにある大学に学んだ。ここでの彼はどうも町の音楽監督のような仕事をしていたようで、市の公式行事で指揮や演奏をした。この組曲の演奏楽譜一式がこの地で作成され、演奏されたことが、今日では明らかである。父はパート譜の複製を禁じていたが、息子の演奏には複製を許可したのであろう。次男のこうした演奏活動はやがてプロイセンの皇太子フリードリヒ2世の目にとまり、1738年に皇太子の私設楽団のチェンバロ奏者に採用されることにもなるわけだ。

組曲は二長調で、序曲(4/4拍子)、アリア(4/4拍子)、ガヴョットI/II(2/2拍子)、ブーレ(2/2拍子)、ジーク(6/8拍子)からなる。〈序曲〉はフランス風で、付点リズムが開始を荘重に告げ、壮麗なフーガとなる。〈アリア〉は有名な「G線上のアリア」だ。この時代には美しい旋律をもつ曲は器楽でも「アリア」と呼ばれた。〈ガヴョット〉と〈ブーレ〉はこの時代に流行した新種の舞曲で、「ギャラント(優雅)」な舞曲とも呼ばれ、もてはやされる。最後は〈ジーク〉で、舞曲風の音楽で終えるのは、この後のエマヌエルやハイドンまでの時代の常套じょうとうとなった。

作曲年代	1731年頃、ライプツィヒにて
初演	初演年不明、ライプツィヒにて
楽器編成	オーボエ2、トランペット3、チェンバロ1／ファゴット1(通奏低音)、ティンパニ1、弦楽

シンフォニア 変ロ長調／シンフォニア ニ長調

バッハの次男エマヌエルは1740年、フリードリヒ2世がプロイセン国王に就任したことで、ベルリンの宮廷楽団員となった。30年間にわたって宮廷音楽家として働き、また鍵盤楽曲や理論書を世に問うことになる。そして1768年、54歳のときに、ハンブルクのヨハネウム学校のカントルならびに市音楽監督に就任する。5つの主要教会に礼拝や祝典のための音楽を提供し、同時にハンザ都市ハンブルクの音楽活動全体を統括した。今回演奏される最初の曲は《6曲のシンフォニア集》(Wq. 182)、後者は《12のオブリガート声部のための4曲のシンフォニア集》(Wq. 183)に含まれる。最初の曲集はオーストリアの外交官で、音楽愛好家としても知られるファン・スヴィーテン男爵から「なんの制約もなしに、思いのたけ自由に」と依頼され作曲された。後者の曲集はプロイセンの皇太子フリードリヒ・ウィルヘルムの依頼により、初演後には出版もされた。

《シンフォニア 変ロ長調》(Wq. 182-2)の編成が弦楽オーケストラなのはベルリンでの演奏が想定されたため。「思いのたけ自由に」作曲されただけあって、エマヌエル音楽の魅力満載だ。第1楽章アレグロ・ディ・モルト、変ロ長調、4/4拍子。音楽は上下に大きく揺れ動き、ダイナミックに展開しては、突然に中断される。それでいて美しいメロディが聴者の心をとらえる。第2楽章ポーコ・アダージョ、ニ長調、3/4拍子。ここではさらに甘美な調べが人々の涙を誘う。第3楽章プレスト、変ロ長調、3/4拍子。最後は再び感情がほとばしる。疾風怒濤の時代の音楽が「体感」できるだろう。

《シンフォニア ニ長調》(Wq. 183-1)の曲集名にある「12のオブリガート声部のための」というのは、弦楽以外の管楽器パートの参加は任意ではなく、「絶対必要」という意味だ。管楽器独自の音色や旋律様式が意識された証拠である。もう「古典派」の交響曲なのだ。第1楽章アレグロ・ディ・モルト、ニ長調、4/4拍子。音楽の流れは突然中断され、聴者は新しい世界へと導かれる。楽器編成が多様になったことで驚きの効果も大きい。第2楽章ラルゴ、変ホ長調、3/4拍子。ここでは激流もつかの間の休息。だが調は不安定で揺れは止まらない。第3楽章プレスト、ニ長調、3/8拍子。最後は舞曲スタイルとなるが、ステップは激しく情熱的だ。

さてハンブルクでは、この疾風怒濤の音楽家エマヌエルが1788年に、7年後には妻ヨハンナ・マリアがこの世を去る。そのちょうど1か月後に、ひとり残された長女フィリップーナのもとを訪ねたのが、ロンドンからウィーンに戻る途中のハイドンだった。

作曲年代	[シンフォニア 変ロ長調] 1773年、ハンブルクにて	[シンフォニア ニ長調] 1775～1776年、ハンブルクにて
初演	[シンフォニア 変ロ長調] 不明	[シンフォニア ニ長調] 1776年、ハンブルクにて
楽器編成	[シンフォニア 変ロ長調] チェンバロ1 (通奏低音)、弦楽	[シンフォニア ニ長調] フルーツ2、オーボエ2、ファゴット1、ホルン2、チェンバロ1 (通奏低音)、弦楽

交響曲 第98番 変ロ長調 Hob. I-98

ハイドンはエステルハーゼ侯の楽長職を辞した後、ヴァイオリニストでオーケストラ興行でも成功を収めていたザロモンと、ロンドンで2年にわたるシーズン中に6曲の新作交響曲を提供する契約を結んだ。1790年12月にはウィーンを発ち、交響曲の《第93番》から《第98番》となる6曲を初演した。この演奏会は大成功を収め、再度1794年から1795年のシーズンにも招待され、さらに《第99番》から《第104番》となる6曲を初演する。これら12曲は今日「ザロモン交響曲」と呼ばれ、彼の円熟期を代表する作品群となっている。《第98番》は「第1期ザロモン交響曲」の最後に位置する。

第1楽章 アダージョ—アレグロ、変ロ長調、2/2拍子。冒頭に弦楽器が奏する、2分音符での分散和音の上行形↗と4分音符でのジグザク進行の下行形↘、このふたつの音形を覚えておいてもらいたい。最初はゆっくり(アダージョ)で、すぐあとで速く(アレグロ)なるが、音形は同じだ。この動きに対抗するかのように、4つの全音符でゆっくりと動く旋律↘にも注意したい。中間部では最初のふたつの音形が同時に組み合わせられるので、音の絡まりが楽しめるだろう。

第2楽章 アダージョ、ヘ長調、3/4拍子。ハイドンがこの曲を初演した4か月前、ウィーンでモーツァルトが短い生涯を終えた。その知らせはハイドンにも伝えられたであろう。こうしたことからこの楽章が亡きモーツァルトへの「レクイエム」であると推測されることがある。彼の最後の交響曲である《ジュピター》の第2楽章とは、調、拍子、テンポ表示が同じであるばかりか、登場する美しい旋律も共通しているからだ。ハイドンがこの楽章をいつ作曲したかが不明なので確実なことは言えないが、それほどまでに夭逝した天才の死を悼む、厳粛で崇高な音楽となっているわけだ。

第3楽章 メヌエット：アレグロ、変ロ長調、3/4拍子。メヌエットはフランスの田舎が起源だが、ここでも田舎風の素朴さが感じられる。鳥がさえずるようなフルートの旋律やトリオでの昔風な響きの半音の動きが魅力的だ。ロンドンの都会っ子はウィーンの田舎情緒を楽しんだことであろう。

第4楽章 終曲：プレスト、変ロ長調、6/8拍子。最終楽章は舞曲のジグで、軽快なステップが特徴的。ここにも仕掛けは満載だ。フルートやオーボエのソロだけでなく、ヴァイオリンのソロも登場。最後は急にテンポが遅くなって主題が聴こえたり、チェンバロの独奏に驚かされたりする。なんとサービス精神旺盛なハイドンだろうか。

作曲年代	1792年
初演	1792年3月2日、ロンドン、ハノーヴァー・スクウェア・ルームズ
楽器編成	フルート1、オーボエ2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ1、チェンバロ1(通奏低音/独奏)、弦楽

PROGRAM



第1936回 東京芸術劇場

9/10 金 7:30pm

9/11 土 2:00pm

Concert No.1936 Tokyo Metropolitan Theatre

September

10(Fri) 7:30pm

11(Sat) 2:00pm

指揮
conductor

パーヴォ・ヤルヴィ

Paavo Järvi

コンサートマスター
concertmaster

篠崎史紀

Fuminori Maro Shinozaki

[開演前の室内楽] N響メンバーによる「開演前の室内楽」を池袋Cプログラム限定で行います。1日目は6:45pm、2日目は1:15pmよりホール内の舞台上で開催します。ご自身の座席で約15分のミニコンサートをお楽しみください。室内楽演奏中の客席への出入りは自由です。

[Pre-concert Chamber Music Performance] Pre-concert chamber music by the members of the NHK Symphony Orchestra will be performed before the concert of Ikebukuro Program C. It starts at 6:45p.m. on the first day, and 1:15p.m. on the second day on the stage of the hall. Enjoy a 15-minute mini concert at your own seat. You are free to take your seat and exit during the performance.

バルトーク

組曲「中国の不思議な役人」[20']

バルトーク

管弦楽のための協奏曲[40']

- I 序章：アンダンテ・ノン・トロッポー
アレグロ・ヴィヴァーチェ
- II 対の遊び：アレグレット・スケルツァンド
- III 悲歌：アンダンテ・ノン・トロッポ
- IV 中断された間奏曲：アレグレット
- V 終曲：ペサンテ―プレスト

★この公演に休憩はございません。あらかじめご了承ください。

Béla Bartók (1881–1945)

“The Miraculous Mandarin,” suite

Béla Bartók

Concerto for Orchestra

- I Introduzione: Andante non troppo –
Allegro vivace
- II Giuoco delle coppie: Allegretto scherzando
- III Elegia: Andante non troppo
- IV Intermezzo interrotto: Allegretto
- V Finale: Pesante–Presto

★ This concert will be performed with no intermission.

後援：豊島区

Under the auspice of: Toshima City

パーヴォ・ヤルヴィ(指揮)



NHK交響楽団首席指揮者として7年目のシーズンを迎えたパーヴォ・ヤルヴィ。2020年2月から3月にかけては、ロンドン、パリ、ウィーン、アムステルダム、ベルリンなど7か国9都市をめぐる、N響と2度目となるヨーロッパ公演を指揮し、現地の聴衆やメディアから前回に勝るとも劣らない称賛を受けた。さらに同年6月には英『グラモフォン』誌が主催する「グラモフォン・クラシカル・ミュージック・アワード2020」において、同ツアーや自身がN響を指揮した一連のレコーディングなどが高く評価され、N響が「オーケストラ・オブ・ザ・イヤー」にノミネートされるなど、N響の世界での存在感の向上に大きな役割を果たしている。

エストニアのタリン生まれ。現地で打楽器と指揮を学んだ後、アメリカのカーティス音楽院で研鑽を積み、バーンスタインにも師事。シンシナティ交響楽団音楽監督、hr交響楽団首席指揮者、パリ管弦楽団音楽監督などを歴任。現在は、ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団芸術監督、チューリヒ・トーンハレ管弦楽団の音楽監督兼首席指揮者、自身が創設したエストニア祝祭管弦楽団芸術監督などを務める。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団などの名門オーケストラにも客演し、現代を代表する指揮者のひとりとして、世界で活躍している。

Program Notes | 太田峰夫

《中国の不思議な役人》と《管弦楽のための協奏曲》。あなたの好みの作品はどちらだろうか。20世紀前衛音楽の旗手としてのベーラ・バルトーク(1881~1945)を評価する人ならば、前者とこたえるかもしれない。民俗音楽の語法とベートーヴェン的な構成原理を調和させた「クラシック」の作曲家としての彼を評価する人ならば、後者とこたえるかもしれない。いずれも難曲なので、一度の演奏会で2曲あわせて聴ける機会はない。だから今日は、一筋縄にいかないこの作曲家の多面性に思いをはせつつ、じっくりと聴き比べていただきたい。

バルトーク

組曲「中国の不思議な役人」

舞台は大都会。ならず者たちは自分たちの巢窟^{そうくつ}の窓際に少女ミミを立たせ、誘惑にのってやってくる客たちに略奪行為を働いていた。老紳士と学生が犠牲になったあと、豪華な衣装を身にまとった中国の役人がやってくる。ミミが踊り、しなだれかかると、静かだった役人が震えだし、猛烈な勢いで少女を追い回しはじめる。おさえつけられても、

刺されても、はては首を吊られても、役人はミミを求めつづける。しかしミミに抱きしめられると、彼女の腕の中で彼は静かに息を引き取る。

1917年1月、作家メニヘールト・レンジェルがハンガリーの文芸誌『西方』に発表したパントマイム《中国の不思議な役人》の筋書きは以上のようなものだった。《青ひげ公の城》以来、男性と女性の愛をめぐる葛藤を描き続けてきたバルトークは、暴力とエロティックなイメージにあふれたこの物語に魅力を感じたようだ。さっそく作曲を申し出た彼は、インタビューの中で台本について「驚くほど美しい物語」と述べている。

作曲時期は第1次世界大戦末期の1918年から、翌年にかけて。1926年11月にケルンで行われた世界初演が「不道徳」な台本のために大騒ぎとなったのは、有名な話である。《組曲》はパントマイムがなかなか舞台化してもらえないことを見てとった彼が、演奏会用に作成したもの。全曲版前半2/3にさらにカットをほどこした内容であり、一種のダイジェストとも言える。全体はひとつつながりの音楽になっており、大きく6つの部分からなる。

〈導入〉では大都会の喧騒と、ならず者の巢窟が描かれる。〈第1の誘惑と老紳士〉では周囲に静まり返り、クラリネットが即興風の旋律を奏でる。老紳士はユーモラスな舞踏のリズムにのって登場するが、ならず者たちにたちまち始末される。〈第2の誘惑と学生〉では、学生がミミと一緒に5/4拍子の舞曲を踊るが、これもならず者たちによって打ち切られてしまう。〈第3の誘惑と役人〉は中国人の登場を描く堂々とした音楽。〈少女の踊り〉はゆったりとしたワルツ曲である。切れ切れの旋律ではじまり、やがてフォルテへと高まっていく。〈追跡〉はアラブ民俗音楽の語法を大胆に取り込んだ音楽である。緊張が高まり、中国人がついに少女をつかまえたところで、曲は唐突に閉じられる。

作曲年代	[全曲版] 1918年6月から1919年5月14日にかけて作曲、1924年5月から11月にかけて管弦楽化 [組曲版] 1927年2月はじめに完成
初演	[組曲版] 1928年10月15日、ブダペスト音楽院大ホールにおけるブダペスト・フィルハーモニー管弦楽団の演奏会にて。エルンスト・フォン・ドホナーニ指揮による
楽器編成	フルート3(ピッコロ2)、オーボエ3(イングリッシュ・ホルン1)、クラリネット3(E♭クラリネット1、バス・クラリネット1)、ファゴット3(コントラファゴット1)、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、チューバ1、ティンパニ1、トライアングル、大太鼓、小太鼓、中太鼓、タムタム、シロフォン、シンバル、サスペンデッド・シンバル、ハーブ1、ピアノ1、チェレスタ1、オルガン1、弦楽

バルトーク

管弦楽のための協奏曲

本作は1943年の夏から秋にかけて、作曲家がニューヨーク州サラナック湖畔に滞在した折に書かれた作品である。バルトークは1942年春から体調を崩し、1943年2月から6月まで入院生活を送った。本人は知ることはなかったが、病名は骨髄性白血病だった。窮状を聞きつけた同じハンガリー出身の音楽家であるシゲティやライナーの仲介で、

クーセヴィツキー財団が彼にオーケストラ作品の作曲を依頼したのが4月末、ないし5月初めのこと。依頼を受けたのち、バルトークの体調が劇的に回復し、ごく短期間のうちに総譜が出来上がったことは一種の奇跡のように語り継がれてきた。

ただし、用意がまったくなかったわけではない。確かに1940年10月にアメリカに移住して以来、バルトークはなかなか新作に取り組めないでいたが、出版社ブージー・アンド・ホークスとの間では、バレエ作品や「(バッハの)ブランデンブルク協奏曲のような」合奏協奏曲の構想が以前から話題になっていた。本作がベートーヴェン的な交響曲の伝統(「苦悩から歓喜へ」)をふまえつつ、協奏曲の技巧的要素、バレエ音楽の華麗さ、交響詩の標題性など、さまざまな要素を含んでいるのは、それまでの数年に蓄積されてきたアイデアを、彼が本作で出し切ろうとしたことのあらわれと言えるだろう。

第1楽章〈序奏〉 アンダンテ・ノン・トロッポ、3/4拍子—アレグロ・ヴィヴァーチェ、3/8拍子。序奏付きのソナタ形式。序奏ではトランペットがハンガリー民謡風の主題を奏でる。主部はきびきびした第1主題を中心とする、ロンド風のソナタ形式。展開部では金管のファンファーレの主題が華やかに展開される。

第2楽章〈対の遊び〉 アレグレット・スケルツァンド、2/4拍子。3部形式。主部ではファゴット、オーボエ、クラリネット、フルート、トランペットが順々に二重奏を披露する。短いコラールをはさんで、再現部はふたたびファゴットから。ただし、前半より楽器が増え、響きはいっそう複雑となる。

第3楽章〈悲歌〉 アンダンテ・ノン・トロッポ、3/4拍子。3部形式。主部の音楽は第1楽章序奏を主な素材としている。中間部のヴィオラ主題はバルトーク流の弔い歌となっており、ハンガリー民謡の行構造をふまえている。

第4楽章〈中断された間奏曲〉 アレグレット。冒頭主題の主題は変拍子をともなう、ルーマニア風の旋律。第2主題はハンガリーの流行歌〈ハンガリーよ、お前は美しい、お前は素敵だ〉を変形させたものだろう。冒頭部分が再現された後、ショスタコーヴィチの《交響曲第7番「レニングラード」》の「侵入の主題」によく似た旋律が割って入ってくるが、これは「軍靴をはいた」侵入者、つまりナチスを念頭に置いているようだ。第2主題と冒頭主題の短い回想の後、曲は静かに閉じられる。

第5楽章〈終曲〉 ペサント、2/4拍子—プレスト、2/4拍子。ソナタ形式。民俗音楽の語法を随所に取り込んだ無窮動のフィナーレ。終わり近くのクライマックスではフーガ主題が農村のアルペンホルンさながらに、高らかに鳴り響く。

作曲年代	1943年8月15日に着手、1943年10月8日に完成
初演	1944年12月1日、セルゲイ・クーセヴィツキー指揮ボストン交響楽団、ボストン・シンフォニー・ホール
楽器編成	フルート3(ピッコロ1)、オーボエ3(イングリッシュ・ホルン1)、クラリネット3(バス・クラリネット1)、ファゴット3(コントラファゴット1)、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、チューバ1、ティンパニ1、大太鼓、シンバル、サスペンデッド・シンバル、小太鼓、トライアングル、タムタム、ハーブ2、弦楽

N響百年史

第二十二回—松竹、日露交驩管絃楽演奏会を仕切る

片山杜秀 — Morihide Katayama

二〇二六年のN響創立百周年に向け、NHK「クラシックの迷宮」のパーソナリティとしてもお馴染みの思想史研究者で音楽評論家の片山杜秀さんが、時代背景とともにN響の歴史をひもときます。山田耕筰と近衛秀麿の夢見たロシア人と日本人による混成オーケストラの大演奏会、ついに実現！ その舞台裏は単純なものではありませんでした。

アウグスト・ユンケルと松竹交響楽団

松竹交響楽団というオーケストラができた。東京を拠点とし、映画音楽の録音でなくコンサートを主たる仕事とし、2管編成のメンバーを擁した。映画に歌舞伎に文楽に演芸に少女歌劇を興行してきた、日本の娯楽産業の大元締めが、ついに本格的にクラシック音楽に進出した。もちろんオーケストラが商売になると算盤をはじいたからである。日本にクラシック音楽が根付いたと松竹が判断したということか。大事件だった。

それはいったいいつのことか。松竹交響楽団の設立は1941(昭和16)年6月である。指揮者として招かれたのはアウグスト・ユンケル。彼はベルリン・フィルハーモニー管弦楽団やシカゴ交響楽団のヴァイオリン奏者を経て、明治時代の東京音楽学校(現東京藝術大学音楽学部)に教師として迎えられ、山田耕筰や信時潔を教えた。室内楽から管弦楽まで、合奏の喜びを多くの生徒に教え、大正期のオーケストラ運動を準備した人こそ、ユンケルに他ならない。彼は第一次世界大戦の始まる前に帰国したけれど、1934(昭和9)年、66歳の年に再来日し、武蔵野音楽学校(現武蔵野音楽大学)で教えていた。

新オーケストラのお披露目の演奏会は1941年12月28日だった。太平洋戦争が始まって20日後。その頃、東京では職業的な演奏会用交響楽団として2団体が活躍していた。ジョセフ・ローゼンストックの率いる新交響楽団(現NHK交響楽団)とマンフレート・グルリットの率いる東京交響楽団(現東京フィルハーモニー交響楽団)である。そこにユンケルと松竹交響楽団が加わった。このコンビはハイドンとモーツァルトとベートーヴェンで勝負してゆく。1942(昭和17)年9

月には、古閑裕而や深井史郎の師である作曲家の菅原明朗が客演し、オネゲルの《交響的詩篇「ダヴィデ王」》の日本初演もやる。

紆余曲折に満ちた日本のプロ・オーケストラの歴史が、ついにひとつの花を開かせようとした頃合いが1941年からだった。そう言ってもよい。1925(大正14)年からの16年間は伊達ではなかった(とはいえ、言うまでもなく、日米戦争の激化によって、たちまち流れは断ち切られてゆき、松竹交響楽団も短命に終わるのだけれど)。はて、16年前に何があったか――。

山田の構想に力を貸した松竹

その年、山田耕筰は1923(大正12)年からの3年越しの計画をついに実らせようとしていた。多少の復習をしよう。山田は第1次世界大戦期から、全員が日本人の職業的なコンサート・オーケストラを育てることこそ、日本におけるクラシック音楽の発展であるとの態度に徹し、試行錯誤した。借金にもまみれた。ところが時代は変わる。第1次世界大戦の好景気を経て、豊かになり、底上げされた都会のブルジョワ階級は、全員日本人の交響楽団を欧米に対抗できる水準まで時間をかけて育てるなんて、ナショナルスティックかつまだるっこしいやり方に、必ずしも共鳴しなくなった。すぐにでも上手なオーケストラを聴きたがった。純血主義にこだわらなくてもよいではないか。時代はインターナショナルだ!

その欲求に帝国ホテルの大倉喜七郎が1923(大正12)年に応え、メンバーに西洋人を何十人も抱え、腕利きの日本人プレイヤーと混成させた東京シンフォニー・オーケストラを作った。山田は焦った。方針を変えた。白系ロシ

ア人には白系ロシア人で対抗するしかない。ロシア革命から逃げてきた腕利きの音楽家たちがかなり溜まっていた、ロシア帝国の植民開拓都市である北満州のハルビンの東支鉄道交響楽団を、日本に招聘しよう!

その頃、ハルビンにはソ連と中華民国の影響力が実効的に及びつつあり、亡命者の安住の地ではなくなりかけてきていた。亡命音楽家は次の行き先を探し出す。そこで山田の構想力が炸裂する。東支鉄道交響楽団の来日を機に、そのメンバーたちの日本移住を進めればよい。彼らに山田の長年の仲間の日本人プレイヤーを足せば、すぐに帝国ホテルのオーケストラよりも格上の交響楽団が誕生するに違いない。

そのためには元手が要る。そこで山田の支援に乗り出したのが、1923年の松竹であったろう。松竹が帝国ホテルに対抗して、山田の財布になった。しかし、計画は同年9月の関東大震災によって、いったんご破算となる。山田がライヴァルと目した帝国ホテルのオーケストラも潰れてしまう。

震災からの復興の歴史の中で、山田は夢を仕切り直してゆく。リセットされた招聘運動には国際情勢が色濃く絡んでくる。ソ連は1925年1月の日ソ国交樹立に合わせ、日ソ親善を盛り上げたい。日露混成のオーケストラの公演もけっこうではないか。だが、革命を嫌って逃げ出したハルビンの白系ロシア人たちはばかりではよろしくない。新生ソ連国家にとどまった演奏家が加わらなければ話にならない。革命派(赤系)と反革命派(白系)の和解も演出されねばならない。そのように開催されるなら種々の便宜をはかろうというのが、ソ連の立場だったろう。

日本側も同様だ。ハルビンを巻き込んだ日ソ親善の文化芸術イベントは、満洲の安定のためにもとてもよい。南満洲鉄道初代総裁

で日ソ国交樹立交渉の立役者、後藤新平が1923年から山田の計画を支持し続けた理由もそこにある。でも、オーケストラの公演が日ソ友好に寄与するためには、公演は安心に安全に無事件で行わなければならない。公演先の日本で亡命をはかる者が現れたら、ぶち壊しだ。内務省の大物官僚、大塚惟精いせいは、赤系だろうが白系だろうが、ひとりでも逃亡者が出たら、公演打ち切りのうえ関係者を逮捕すると、山田に言い含めたという。

となると、山田の当初の構想は変更されざるを得ない。来日したメンバーを末長く日本にとどめる工作は行いにくくなる。来日した演奏家にはソ連やハルビンにいったん素直に帰ってもらうしかならない。そのあと、また改めて工作するにしても、白系ロシア人をまとめて日本に引き取り、新しいオーケストラを立ち上げるのは難しかろう。白系に肩入れして日ソ親善に水を差してはならない。

ロシア革命直後の特殊な状況を味方にして、腕利きの西洋人を集めた職業的交響楽団を日本に作るという、けっこう現実的だった目論見は、関東大震災による東京シンフォニー・オーケストラのあつという間の挫折と、それに続く山田の構想の進路変更によって、ついに幻となった。草創期のNHK交響楽団のメンバーの何割かが白系ロシア人という歴史もありえたと思われるのだが、すべては結局、歴史の緩である。

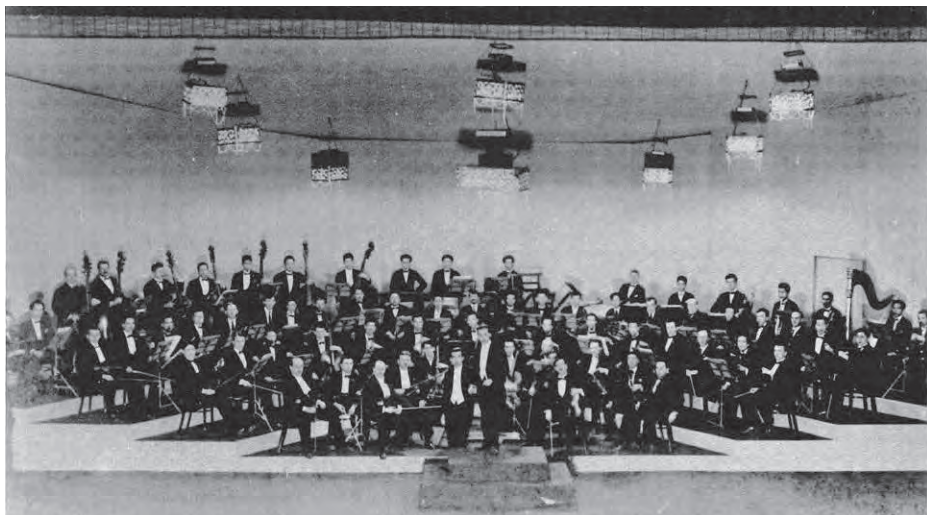
「日露交驩交響管絃楽演奏会」、 ついに実現！

さて、兎にも角にもそのように船頭を多くして、赤系と白系の両方のロシア人たちを招いてのオーケストラ演奏会が仕掛けられていっ

た。その勧進元はどこであったろうか。日本やソ連の政府筋はさまざまに便宜をはかり、注文も付けたけれど、経済的面倒まで見てくれたわけではない。ソ連とハルビンの音楽家たちにギャラを支払い、劇場を押さえ、宣伝をし、チケットを売り、興行をとりしきったのはやはり松竹だった。

1925(大正14)年は、松竹にとっても大切な年だった。東京の格式ある大劇場となれば、1889(明治22)年に木挽町こびきちょうに開場した歌舞伎座であろう。大正初期、松竹は同劇場を傘下に収めた。ところが1921(大正10)年、漏電で丸焼け。再建途中に今度は大震災。やっと1924年の師走しわす しゆんこうに竣工した。新しい歌舞伎座には、いつもの歌舞伎ばかりでなく、大震災後の新東京にふさわしい当世風の演目が欲しい。オーケストラである。ここに松竹は山田と提携し、日露交驩こくろくかん(交讐)交響管絃楽演奏会の興行を一手に引き受ける。かくして4月中旬、ハルビンから24人、ソ連から9人の、合わせて33人が神戸の港に到着し、山田と近衛秀麿このえひでまろの集めておいた38人の日本人演奏家と合同して、臨時混成オーケストラを組織。4月26日から歌舞伎座において、山田と近衛の指揮による4日連続のコンサートを開いて大入りを記録し、さらに名古屋の御園座みそのざ、大阪の松竹座、神戸の松竹劇場等を巡演して、いずれも大当たり。ロシア人たちはまた神戸から帰っていった。

クラシック音楽界は大盛り上がり。鉄は熱いうちに打て！ 山田はこの機を逃さず、近衛を仲間に引き入れたまま、オーケストラの常設化に突き進みたかった。松竹には引き続きの後盾だてを期待した。だが、松竹の熱意はそこまでだった。なぜ、興行が当たったか。山田や近衛のような日本人指揮者の人気ふつとうが沸騰したせいでも、日本人奏者たちの腕前が聴衆を



日露交驩交響管絃楽演奏会の指揮台に立つ山田耕筰(中央)と近衛秀麿(その左、1段下)。1925年4月26～29日、歌舞伎座

酔わせたせいでもない。人々の耳目を奪ったのは、あくまで本場の外来演奏者だった。山田は1923年から西洋人がそのまま大勢いる常設の交響楽団を作りたいと松竹にモーションをかけていたはずだが、その夢は国際事情もあって後景に退いたようである。それにもしても、本当に上手な西洋人の多数に月給を出すとしたら、算盤の弾き方はまるで変わる。日露交驩交響管絃楽演奏会は東の間の夢だからよかった！ 松竹の撤退は当然と言えば当然だった。この大興行会社が交響楽団の経営に乗り出すまで、このあと18年かかることになる。

だが、めげることなかれ。捨てる神あれば拾う神あり。松竹に代わって現れた救世主は、1924年に設立された社団法人東京放送局

という日本最初のラジオ局であった。ここにもまた後藤新平が現れる。日露交驩交響管絃楽演奏会を陰で支えた彼は、同放送局の初代総裁でもあった。東京放送局は1926(大正15)年には、名古屋と大阪の放送局と合体し、社団法人日本放送協会に発展する。同年が新交響楽団、今日のNHK交響楽団の設立年となったのは、むろん偶然ではない。

文 | 片山杜秀(かたやま もりひで)

思想史研究者、音楽評論家。慶應義塾大学法学部教授。2008年、『音盤考現学』『音盤博物誌』で吉田秀和賞、サントリー学芸賞を受賞。『クラシックの核心』『ゴジラと日の丸』『近代日本の右翼思想』『未完のファシズム』『見果てぬ日本』『尊皇攘夷』ほか著書多数。

次回予告

山田耕筰と近衛秀麿の長年の夢が実現した「日露交驩交響管絃楽演奏会」。その内実は？ そしていよいよ楽団運営に乗り出すNHKと2人のなれそめは？

10月定期公演の聴きどころ

公演企画担当者から

ヘルベルト・ブロムシュテットが初めてN響を指揮したのは1981年11月。以来ちょうど40年、ほぼ毎年のように共演を積み重ねてきた。昨年は来日が叶わなかったが、マエストロと私たちの深い絆きずなはいささかも緩むことがない。今回の3種類のプログラムは、すべて北欧とドイツ・中欧の作品を組み合わせたものである。70年近くにわたり、これらの地域を主舞台上に活躍してきた巨匠の指揮者人生、芸術のエッセンスが凝縮されている。

巨匠が限りない共感を込めて贈る ニルセン

[池袋Aプログラム]のレオニダス・カヴァオスは現代最高峰のヴァイオリニスト。磨き抜かれた音色やフレージング、構築力、時には粗野にもなれる実験精神など、どこを取っても間然する所がない。厚い信頼関係で結ばれたマエストロのサポートを得て、ブラームス《ヴァイオリン協奏曲》は、シーズン屈指の好演となる予感大である。

ブロムシュテットとN響は、ニルセン《交響曲第5番》を20年前にも演奏した。当時「注目されない曲に敢えて“布教精神”で挑む」と語っていたマエストロ。その熱意が実り、ニルセンは我々のスタンダード・レパートリーになりつつある。《第5番》には作曲家が敬愛したブラームスの楽想が見え隠れするが、表現のユニークさ・インパクトの強さは、マーラーやショスタコーヴィチにも匹敵する。この曲を愛してやまない巨匠が、限りない共感を込めて贈る。

N響とのベートーヴェン・シリーズの 掉尾を飾る《運命》

ブロムシュテットの“布教精神”は、祖国スウェーデンの作曲家ステンハンマルにも向けられている。[Bプログラム]前半の《セレナード》は、タイトルから気軽な機会音楽を連想するが、その実、2曲の交響曲と並ぶ彼の本格的なオーケストラ作品である。後期ロマン派の芳醇な香りを、北欧の澄んだ空気が包み込むかのようだ。美しくたゆたうヴァイオリンやク

ラリネットのソロには、南国イタリアへの憧れも感じられる。

ステンハンマルはピアニストとしても、ベートーヴェンの演奏で名を馳せた。後半は“運命”の主題でおなじみの《交響曲第5番》。2015年以来続けてきたブロムシュテットとN響のベートーヴェン・シリーズは、これをもって完結する。一般に指揮者のテンポは加齢と共に遅くなるが、マエストロの場合、むしろ以前よりきびきびと引き締まってきた。飽くことを知らぬ探求心のなせる業である。

定番の名曲を瑞々しさあふれる 名匠のタクトで堪能する

[池袋Cプログラム]は、グリーグ《「ペール・ギュント」組曲第1番》とドヴォルザーク《交響曲第8番》。どちらも親しみやすい旋律や叙

情性に富んだ、定番の名曲である。特に前者はブロムシュテットの十八番で、サンフランシスコ響との録音は名盤の誉れ高い。後者はN響がツアーなどで最も頻繁に演奏する曲のひとつ。メンバーの誰もが曲を熟知しているので、短いリハーサルでも形になる反面、ともしればパターン化された演奏に陥る危険性を秘めている。だがおそらくブロムシュテットは、数限りなく取り上げてきたこれらの曲のスコアを一から読み直し、練習時間を目いっぱい使って、新鮮な音楽を立ち上げることだろう。マンネリズムとは程遠い、瑞々しさにあふれた解釈が聴けるに違いない。

[西川彰一／NHK交響楽団演奏制作部長]

※mélomane：フランス語で「音楽愛好家」の意

池袋 **A** 10/16 土 6:00pm
10/17 日 2:00pm

東京芸術劇場 コンサートホール

B 10/27 水 7:00pm
10/28 木 7:00pm

サントリーホール

池袋 **C** 10/22 金 7:30pm
10/23 土 2:00pm

東京芸術劇場 コンサートホール

ブラームス／ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品77
ニルゼン／交響曲 第5番 作品50

指揮：ヘルベルト・ブロムシュテット
ヴァイオリン：レオニダス・カヴァコス



ステンハンマル／セレナード へ長調 作品31
ベートーヴェン／交響曲 第5番 ハ短調 作品67

指揮：ヘルベルト・ブロムシュテット



グリーグ／「ペール・ギュント」組曲 第1番 作品46
ドヴォルザーク／交響曲 第8番 卜長調 作品88

指揮：ヘルベルト・ブロムシュテット



チケットのご案内(定期公演 2021年9月~2022年6月)

1回券

公演ごとにチケットをお買い求めいただけます。料金は公演によって異なります。各公演の情報をご覧ください。

発売開始日 [11:00amからの受付]	公演	発売中	備考
9月(池袋A、B)		発売中	9月池袋Cプログラムは、緊急事態宣言の延長に伴い、定期会員券ですでに収容率50%に達しているため、1回券の発売を中止しました
10・11月		8月4日[水](会員) / 8月9日[月・休](一般)	発売延期(新たな発売日は9月末に発表予定)
12・1・2月		10月26日[火](会員) / 10月31日[日](一般)	
4・5・6月		3月2日[水](会員) / 3月6日[日](一般)	

※今後の状況によっては発売日が変更になる場合があります

定期会員券

毎回同じ座席をご用意。1回券と比べて1公演あたり10~30%お得です！(割引率は公演や券種によって異なります)

※ Aプログラム、CプログラムはNHKホール改修工事に伴い、会場をNHKホールから東京芸術劇場(池袋)に移して、「池袋Aプログラム」「池袋Cプログラム」として行います

※ Bプログラムはサントリーホール改修工事に伴い、2022年4月公演を休止するため全8回となります。シーズン会員券の販売はございません

※ 池袋Cプログラムは2021~22シーズンから会員券の料金を変更させていただきます

発売開始日 [11:00amからの受付]	券種	発売中	備考
	年間会員券、シーズン会員券(Autumn)	発売中	池袋A、Bプログラムのみ。池袋Cプログラムは、緊急事態宣言の延長に伴い、宣言期間に該当する9月公演日がすでに収容率50%に達しているため販売停止
	シーズン会員券(Winter)	10月15日[金](会員) / 10月21日[木](一般)	
	シーズン会員券(Spring)	2月22日[火](会員) / 2月25日[金](一般)	

※今後の状況によっては発売日が変更になる場合があります

料金(税込)

券種	S	A	B	C	D	D(ユースチケット)
年間会員券(9回) [池袋A]	¥65,970 (¥7,330)	¥56,610 (¥6,290)	¥44,010 (¥4,890)	¥35,730 (¥3,970)	¥27,540 (¥3,060)	¥9,000 (¥1,000)
年間会員券(8回) [B]	¥58,640 (¥7,330)	¥50,320 (¥6,290)	¥39,120 (¥4,890)	¥31,760 (¥3,970)	¥24,480 (¥3,060)	¥8,000 (¥1,000)
年間会員券(9回) [池袋C]	¥56,610 (¥6,290)	¥49,725 (¥5,525)	¥39,780 (¥4,420)	¥32,130 (¥3,570)	¥24,480 (¥2,720)	¥8,820 (¥980)

券種	S	A	B	C	D	D(ユースチケット)
シーズン会員券(3回) [池袋A]	¥23,820 (¥7,940)	¥19,860 (¥6,620)	¥15,570 (¥5,190)	¥12,540 (¥4,180)	¥9,480 (¥3,160)	¥3,900 (¥1,300)
シーズン会員券(3回) [池袋C]	¥19,890 (¥6,630)	¥17,520 (¥5,840)	¥14,010 (¥4,670)	¥11,250 (¥3,750)	¥8,550 (¥2,850)	¥3,780 (¥1,260)

※()内は1公演あたりの単価

WEBセレクト3+

好きな公演を3つ以上セレクトすると、1回券がお得になります。Autumn(9~11月)、Winter(12~2月)、Spring(4~6月)の各シーズン内の公演(9プログラム18公演)のうち、3公演以上まとめて購入すると、1回券の一般料金より約8%割引いたします。

します。座席・券種は自由にお選びいただけます。

- ※ WEBチケットN響のみでの販売となります
- ※ 1回券発売日からお申し込みいただけます
(なお、9~11月定期公演の1回券を同時に発売できなくなったことを受け、同期間の「WEBセレクト3+」の販売を休止しています。10月以降の1回券の発売時に改めて発売について検討します)

ユースチケット

25歳以下の方へのお得なチケットです。1回券と定期会員券(D席)でご利用いただけます。料金は各公演の情報をご覧ください。

- ※ N響ガイドのみの販売となります
- ※ 25歳以下の証明となるものをご提示いただきます

お問い合わせ

N響ガイド | TEL 03-5793-8161

営業時間: 11:00am ~ 5:00pm

定休日: 土・日・祝日、定期公演池袋Aプログラムの翌月曜

● 主催公演開催日は曜日に関わらず11:00am~開演時刻まで営業

● 発売初日の土・日・祝日は11:00am~3:00pmの営業

● 感染症予防対策のため電話受付のみの営業

WEBチケットN響(手数料無料) <https://ticket.nhks.or.jp>

Please follow us on



2021-22定期公演プログラム

2021 09	池袋 A	第1938回 9/25(土) 6:00pm 9/26(日) 2:00pm 東京芸術劇場 コンサートホール	充実一途のベテラン沼尻竜典がマラーに鋭く切り込む モーツァルト／クラリネット協奏曲 イ長調 K. 622 マラー／交響曲 第1番 二長調「巨人」 指揮：沼尻竜典 クラリネット：伊藤 圭* ★当初予定のソリストから変更になりました。	一般 ユース S ¥8,900 S ¥5,500 A ¥7,400 A ¥4,500 B ¥5,800 B ¥3,500 C ¥4,700 C ¥2,500 D ¥3,700 D ¥1,500	
		B	第1937回 9/15(水) 7:00pm 9/16(木) 7:00pm サントリーホール	古楽の巨星が新たな命を吹き込むバロック・古典の名品 バッハ／組曲 第3番 二長調 BWV1068 C. P. E. バッハ／シンフォニア 変ロ長調* C. P. E. バッハ／シンフォニア 二長調* ハイドン／交響曲 第98番 変ロ長調 Hob. I-98 指揮：鈴木秀美* ★当初予定の出演者・曲目から変更になりました。	一般 ユース S ¥8,900 S ¥5,500 A ¥7,400 A ¥4,500 B ¥5,800 B ¥3,500 C ¥4,700 C ¥2,500 D ¥3,700 D ¥1,500
		池袋 C	第1936回 9/10(金) 7:30pm 9/11(土) 2:00pm 東京芸術劇場 コンサートホール	バーヴォ・ヤルヴィの十八番 バルトークで池袋C開幕 バルトーク／組曲「中国の不思議な役人」 バルトーク／管弦楽のための協奏曲 指揮：バーヴォ・ヤルヴィ	一般 ユース S ¥7,400 S ¥4,500 A ¥6,500 A ¥4,000 B ¥5,200 B ¥3,000 C ¥4,200 C ¥2,000 D ¥3,200 D ¥1,400
2021 10	池袋 A	第1939回 10/16(土) 6:00pm 10/17(日) 2:00pm 東京芸術劇場 コンサートホール	戦争の傷跡が滲むニルセンの問題作をブロムシュテットが振る ブラームス／ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品77 ニルセン／交響曲 第5番 作品50 指揮：ヘルベルト・ブロムシュテット ヴァイオリン：レオニダス・カヴァコス	一般 ユース S ¥9,800 S ¥5,800 A ¥8,400 A ¥4,800 B ¥6,700 B ¥3,800 C ¥5,400 C ¥2,800 D ¥4,400 D ¥1,800	
		B	第1941回 10/27(水) 7:00pm 10/28(木) 7:00pm サントリーホール	ブロムシュテットが慈しんで奏でる母国スウェーデンの傑作と《運命》 ステンハンマル／セレナード へ長調 作品31 ベートーヴェン／交響曲 第5番 八短調 作品67 指揮：ヘルベルト・ブロムシュテット	一般 ユース S ¥9,800 S ¥5,800 A ¥8,400 A ¥4,800 B ¥6,700 B ¥3,800 C ¥5,400 C ¥2,800 D ¥4,400 D ¥1,800
		池袋 C	第1940回 10/22(金) 7:30pm 10/23(土) 2:00pm 東京芸術劇場 コンサートホール	巨匠が愛情をこめて奏でるグリーグとドヴォルザークの名作 グリーグ／「ペール・ギュント」組曲 第1番 作品46 ドヴォルザーク／交響曲 第8番 ト長調 作品88 指揮：ヘルベルト・ブロムシュテット	一般 ユース S ¥7,400 S ¥4,500 A ¥6,500 A ¥4,000 B ¥5,200 B ¥3,000 C ¥4,200 C ¥2,000 D ¥3,200 D ¥1,400
2021 11	池袋 A	第1942回 11/13(土) 6:00pm 11/14(日) 2:00pm 東京芸術劇場 コンサートホール	音楽の都、ウィーンの伝統の結晶! フランツ・シュミットの《交響曲第2番》 ウェーバー／歌劇「魔弾の射手」序曲 リスト／ピアノ協奏曲 第2番 イ長調 フランツ・シュミット／交響曲 第2番 変ホ長調 指揮：ファビオ・ルイーダ ピアノ：アレクサンダー・タヴェルナ	一般 ユース S ¥9,800 S ¥5,800 A ¥8,400 A ¥4,800 B ¥6,700 B ¥3,800 C ¥5,400 C ¥2,800 D ¥4,400 D ¥1,800	
		B	第1944回 11/24(水) 7:00pm 11/25(木) 7:00pm サントリーホール	ルイーダの十八番、チャイコフスキー《交響曲第5番》を堪能する バガニニ／ヴァイオリン協奏曲 第1番 二長調 作品6 チャイコフスキー／交響曲 第5番 ホ短調 作品64 指揮：ファビオ・ルイーダ ヴァイオリン：フランチェスカ・デゴ	一般 ユース S ¥9,800 S ¥5,800 A ¥8,400 A ¥4,800 B ¥6,700 B ¥3,800 C ¥5,400 C ¥2,800 D ¥4,400 D ¥1,800
		池袋 C	第1943回 11/18(木) 7:30pm* 11/19(金) 7:30pm 東京芸術劇場 コンサートホール	ブルクナーに情熱を捧げるルイーダの《交響曲第4番「ロマンチック」》 ブルクナー／交響曲 第4番 変ホ長調「ロマンチック」 指揮：ファビオ・ルイーダ ★通常土曜日の公演(池袋C-2)を木曜7:30pmに開催します	一般 ユース S ¥7,400 S ¥4,500 A ¥6,500 A ¥4,000 B ¥5,200 B ¥3,000 C ¥4,200 C ¥2,000 D ¥3,200 D ¥1,400

池袋	東京芸術劇場 コンサートホール	B	サントリーホール	池袋	東京芸術劇場 コンサートホール
A	開場5:00pm 開演6:00pm 開場1:00pm 開演2:00pm		開場6:20pm 開演7:00pm 開場6:20pm 開演7:00pm	C	開場6:30pm 開演7:30pm 開場1:00pm 開演2:00pm
2021 12	池袋 A	第1945回 12/4(土) 6:00pm 12/5(日) 2:00pm 東京芸術劇場 コンサートホール	男女の心の絆を精妙に描くシェーンベルク初期の傑作を聴く ブラームス／ハイドンの主題による変奏曲 作品56a R. シュトラウス／4つの最後の歌 シェーンベルク／浄められた夜 作品4 指揮：山田和樹 ソプラノ：佐々木典子	一般 ユース S ¥8,900 S ¥5,500 A ¥7,400 A ¥4,500 B ¥5,800 B ¥3,500 C ¥4,700 C ¥2,500 D ¥3,700 D ¥1,500	
	B	第1947回 12/15(水) 7:00pm 12/16(木) 7:00pm サントリーホール	期待の俊英指揮者によるドイツ・オーストリア音楽を俯瞰するプログラム ハイドン／交響曲 第22番 変ホ長調 Hob. I-22「哲学者」 HK グルーバー／エアリアル[日本初演]* R. シュトラウス／交響詩「ツァルトゥストラはこう語った」作品30 指揮：デリア・スロボデニューク トランペット：ホーカン・ハーデンベルガー*	一般 ユース S ¥8,900 S ¥5,500 A ¥7,400 A ¥4,500 B ¥5,800 B ¥3,500 C ¥4,700 C ¥2,500 D ¥3,700 D ¥1,500	
	池袋 C	第1946回 12/10(金) 7:30pm 12/11(土) 2:00pm 東京芸術劇場 コンサートホール	飛躍を遂げたロシアの気鋭が10年ぶりにN響の指揮台に立つ チャイコフスキー／ロココ風の主題による変奏曲 作品33* ムソルグスキー(ラヴェル編)／組曲「展覧会の絵」 指揮：ワシリー・ペトレニコ チェロ：ダニエル・ミュラー・ショット*	一般 ユース S ¥7,400 S ¥4,500 A ¥6,500 A ¥4,000 B ¥5,200 B ¥3,000 C ¥4,200 C ¥2,000 D ¥3,200 D ¥1,400	
2022 01	池袋 A	第1948回 1/15(土) 6:00pm 1/16(日) 2:00pm 東京芸術劇場 コンサートホール	原田慶太楼と反田恭平が捧げるポーランド、バリへのオマージュ ショパン(グラスフ編)／軍隊ポロネーズ イ長調 作品40-1(管弦楽版) ショパン(ストラヴィンスキー編)／夜想曲 変イ長調 作品32-2(管弦楽版) パデレフスキ／ポーランド幻想曲 作品19* ストラヴィンスキー／バレエ音楽「火の鳥」(1910年版) 指揮：原田慶太楼 ピアノ：反田恭平*	一般 ユース S ¥8,900 S ¥5,500 A ¥7,400 A ¥4,500 B ¥5,800 B ¥3,500 C ¥4,700 C ¥2,500 D ¥3,700 D ¥1,500	
	B	第1950回 1/26(水) 7:00pm 1/27(木) 7:00pm サントリーホール	色彩の魔術師・ソビエフがセレクトするプロコフィエフの煌めく名品 プロコフィエフ／歌劇「戦争と平和」―「ワルツ」 プロコフィエフ／ピアノ協奏曲 第3番 ハ長調 作品26 プロコフィエフ／交響曲 第5番 変ロ長調 作品100 指揮：トゥガン・ソビエフ ピアノ：ハオチェン・チャン	一般 ユース S ¥8,900 S ¥5,500 A ¥7,400 A ¥4,500 B ¥5,800 B ¥3,500 C ¥4,700 C ¥2,500 D ¥3,700 D ¥1,500	
	池袋 C	第1949回 1/21(金) 7:30pm 1/22(土) 2:00pm 東京芸術劇場 コンサートホール	濃密なロマンの香りを放つソビエフのブラームス ブルッフ／ヴァイオリン協奏曲 第1番 ト短調 作品26 ブラームス／交響曲 第3番 へ長調 作品90 指揮：トゥガン・ソビエフ ヴァイオリン：ワディム・グルズマン	一般 ユース S ¥7,400 S ¥4,500 A ¥6,500 A ¥4,000 B ¥5,200 B ¥3,000 C ¥4,200 C ¥2,000 D ¥3,200 D ¥1,400	
2022 02	池袋 A	第1951回 2/5(土) 6:00pm 2/6(日) 2:00pm 東京芸術劇場 コンサートホール	バーヴォ・ヤルヴィ、レヴィットと究めるドイツ・ロマン主義の精髓 ブラームス／ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 作品83 シューマン／交響曲 第2番 へ長調 作品61 指揮：バーヴォ・ヤルヴィ ピアノ：イコール・レヴィット	一般 ユース S ¥9,800 S ¥5,800 A ¥8,400 A ¥4,800 B ¥6,700 B ¥3,800 C ¥5,400 C ¥2,800 D ¥4,400 D ¥1,800	
	B	第1953回 2/16(水) 7:00pm 2/17(木) 7:00pm サントリーホール	バーヴォ・ヤルヴィ&ハンのイギリス&アメリカ・プログラム プリテン／歌劇「ピーター・グラインズ」―4つの海の間奏曲 作品33a バーバー／ヴァイオリン協奏曲 作品14 エルガー／変奏曲「謎」作品36 指揮：バーヴォ・ヤルヴィ ヴァイオリン：ヒラリー・ハーン	一般 ユース S ¥9,800 S ¥5,800 A ¥8,400 A ¥4,800 B ¥6,700 B ¥3,800 C ¥5,400 C ¥2,800 D ¥4,400 D ¥1,800	
	池袋 C	第1952回 2/11(金) 祝 7:30pm 2/12(土) 2:00pm 東京芸術劇場 コンサートホール	バーヴォ・ヤルヴィ&N響が大管弦楽で描くアルプスの壮大なパノラマ R. シュトラウス／バレエ音楽「ヨセフの伝説」から交響的断章 R. シュトラウス／アルプス交響曲 作品64 指揮：バーヴォ・ヤルヴィ	一般 ユース S ¥7,400 S ¥4,500 A ¥6,500 A ¥4,000 B ¥5,200 B ¥3,000 C ¥4,200 C ¥2,000 D ¥3,200 D ¥1,400	

2022 04	池袋 A	第1954回 4/9 土 6:00pm 4/10 日 2:00pm	ドイツ最高峰の巨匠と紡ぐベートーヴェンの「舞踏交響曲」 ドヴォルザーク / 序曲「謝肉祭」作品92 モーツァルト / フルート協奏曲 第1番ト長調 K. 313 ベートーヴェン / 交響曲 第7番 イ長調 作品92	一般 ユース S ¥9,800 S ¥5,800 A ¥8,400 A ¥4,800 B ¥6,700 B ¥3,800 C ¥5,400 C ¥2,800 D ¥4,400 D ¥1,800
		東京芸術劇場 コンサートホール	指揮: クリストフ・エッセンバッハ フルート: スタティス・カラバノス	
	B		サントリーホールでの改修工事に伴い、4月定期公演Bプログラムの開催を休止します。	
	池袋 C	第1955回 4/15 金 7:30pm 4/16 土 2:00pm	孤高の巨匠が追るマラーの本質——エッセンバッハの《交響曲第5番》 マラー / 交響曲 第5番 嬰ハ短調	一般 ユース S ¥7,400 S ¥4,500 A ¥6,500 A ¥4,000 B ¥5,200 B ¥3,000 C ¥4,200 C ¥2,000 D ¥3,200 D ¥1,400
		東京芸術劇場 コンサートホール	指揮: クリストフ・エッセンバッハ	
2022 05	池袋 A	第1956回 5/14 土 6:00pm 5/15 日 2:00pm	こだわりの名匠と一から再構築するシューベルトの巨大な音楽遺産 シューマン / ヴァイオリン協奏曲 二短調 シューベルト / 交響曲 第8番 ハ長調 D. 944「ザ・グレート」	一般 ユース S ¥8,900 S ¥5,500 A ¥7,400 A ¥4,500 B ¥5,800 B ¥3,500 C ¥4,700 C ¥2,500 D ¥3,700 D ¥1,500
		東京芸術劇場 コンサートホール	指揮: マレク・ヤノフスキ ヴァイオリン: アリョーナ・バーエフ	
	B	第1958回 5/25 水 7:00pm 5/26 木 7:00pm	名キャプテンルイージと大海原を音楽で航海する メンデルスゾーン / 序曲「静かな海と楽しい航海」作品27 ラヴェル / ピアノ協奏曲ト長調 リムスキー・コルサコフ / 交響組曲「シェラザード」作品35	一般 ユース S ¥9,800 S ¥5,800 A ¥8,400 A ¥4,800 B ¥6,700 B ¥3,800 C ¥5,400 C ¥2,800 D ¥4,400 D ¥1,800
		サントリーホール	指揮: ファビオ・ルイージ ピアノ: 小菅 優	
	池袋 C	第1957回 5/20 金 7:30pm 5/21 土 2:00pm	ルイージと丹念に磨き込むウィーン古典派の名品 モーツァルト / 歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲 モーツァルト / ピアノ協奏曲 第20番 二短調 K. 466 ベートーヴェン / 交響曲 第8番 ヘ長調 作品93	一般 ユース S ¥7,400 S ¥4,500 A ¥6,500 A ¥4,000 B ¥5,200 B ¥3,000 C ¥4,200 C ¥2,000 D ¥3,200 D ¥1,400
		東京芸術劇場 コンサートホール	指揮: ファビオ・ルイージ ピアノ: アレクサンドル・メルニコフ	
2022 06	池袋 A	第1959回 6/11 土 6:00pm 6/12 日 2:00pm	フランス音楽と文学の幸せなマリージュ その耽美的な世界に身を委ねる デュカス / バレエ音楽「ペリ」(ファンファーレつき) ラヴェル / シェエラザード* ドビュッシー / 牧神の午後への前奏曲 フوران・シュミット / バレエ組曲「サロメの悲劇」作品50 指揮: ステファヌ・ドゥナーヴ メゾ・ソプラノ: ステファニー・ドゥストラック*	一般 ユース S ¥8,900 S ¥5,500 A ¥7,400 A ¥4,500 B ¥5,800 B ¥3,500 C ¥4,700 C ¥2,500 D ¥3,700 D ¥1,500
		東京芸術劇場 コンサートホール		
	B	第1961回 6/22 水 7:00pm 6/23 木 7:00pm	しなやかに、颯爽と! 鈴木優人のモーツァルト《ジュピター》 パッサカリアとフーガ 八短調 BWV582 ブリテン / ヴァイオリン協奏曲 作品15 モーツァルト / 交響曲 第41番 ハ長調 K. 551「ジュピター」	一般 ユース S ¥8,900 S ¥5,500 A ¥7,400 A ¥4,500 B ¥5,800 B ¥3,500 C ¥4,700 C ¥2,500 D ¥3,700 D ¥1,500
		サントリーホール	指揮: 鈴木優人 ヴァイオリン: 郷古 廉	
	池袋 C	第1960回 6/17 金 7:30pm 6/18 土 2:00pm	仏米2人の作曲家が伝える1920～30年代 巴りの息吹 ブーランク / バレエ組曲「牝鹿」 ブーランク / オルガン協奏曲ト短調 ガーシュウィン / 巴りのアメリカ人	一般 ユース S ¥7,400 S ¥4,500 A ¥6,500 A ¥4,000 B ¥5,200 B ¥3,000 C ¥4,200 C ¥2,000 D ¥3,200 D ¥1,400
		東京芸術劇場 コンサートホール	指揮: ステファヌ・ドゥナーヴ オルガン: オリヴィエ・ラトリ	(料金はすべて税込)

※今後の状況によっては、出演者や曲目等が変更になる場合や、公演が中止となる場合があります。あらかじめご了承ください。

各地の公演

9/20(月) 4:30pm | NHK交響楽団演奏会

千葉県文化会館 大ホール

指揮: 広上淳一 ピアノ: 小山実稚恵
ラフマニノフ/ピアノ協奏曲 第3番 二短調 作品30
ポロディン/交響詩「中央アジアの草原で」
ストラヴィンスキー/バレエ組曲「火の鳥」(1919年版)

主催: (公財)千葉県文化振興財団
お問合せ: 千葉県文化会館 TEL (043) 222-0201

10/9(土) 4:00pm | かつしかシンフォニーヒルズ リニューアル記念 N響ベストクラシックス

川瀬賢太郎×佐藤晴真×N響

かつしかシンフォニーヒルズ モーツァルトホール

指揮: 川瀬賢太郎 チェロ: 佐藤晴真*
ベートーヴェン/「エグモント」序曲
チャイコフスキー/ロココ風の主題による変奏曲 作品33(原典版)*
チャイコフスキー/弦楽四重奏曲 第1番 二長調 作品11—第2楽章「アンダンテ・カンタービレ」(独奏チェロと弦楽合奏)*
ベートーヴェン/交響曲 第7番 イ長調 作品92

主催: 葛飾区文化施設指定管理者
お問合せ: かつしかシンフォニーヒルズ TEL (03) 5670-2233

10/10(日) 3:00pm | N響プロジェクト2021 第23回NHK交響楽団足利定期公演

足利市民プラザ 文化ホール

出演者・曲目は10月9日と同じ

主催: (公財)足利市みどり文化・スポーツ財団/足利市教育委員会
お問合せ: 足利市民プラザ TEL (0284) 72-8511

10/11(日) 2:00pm | NHK交響楽団 川瀬賢太郎(指揮) 佐藤晴真(チェロ)

埼玉会館 大ホール

出演者・曲目は10月9日と同じ

主催: (公財)埼玉県芸術文化振興財団
お問合せ: SAFチケットセンター TEL (0570) 064-939

10/30(土) 2:00pm | NHK交響楽団&ヘルベルト・ブロムシュテット[指揮]《運命》

所沢市民文化センター ミューズ アークホール

指揮:ヘルベルト・ブロムシュテット

ステンハンマル/セレナード へ長調 作品31

ベートーヴェン/交響曲 第5番 ハ短調 作品67

主催:(公財)所沢市文化振興事業団

お問合せ:ミュージックチケットカウンター TEL (04) 2998-7777

11/2(火) 7:00pm | 第178回 NTT東日本N響コンサート

東京オペラシティ コンサートホール

指揮:尾高忠明 ピアノ:清水和音

ラフマニノフ/ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 作品18

チャイコフスキー/交響曲 第6番 口短調 作品74「悲愴」

主催:NTT東日本

お問合せ:NHKプロモーション TEL (03) 5790-6423

11/3(水祝) 2:30pm | NHK交響楽団 厚木公演

厚木市文化会館 大ホール

出演者・曲目は11月2日と同じ

主催:(公財)厚木市文化振興財団

お問合せ:厚木市文化会館チケット予約センター TEL (046) 224-9999

11/8(月) 7:00pm | NHK音楽祭2021～未来へ～

Bunkamura オーチャードホール

指揮:尾高忠明 ピアノ:「第18回シヨパン国際ピアノコンクール」最高位

シヨパン/ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 作品11 または 第2番 へ短調 作品21

シヨスタコーヴィチ/交響曲 第5番 二短調 作品47

主催:NHK/NHKプロモーション

共催:NHK交響楽団

お問合せ:ハローダイヤル TEL (050) 5541-8600

11/27(土) 4:00pm | NHK交響楽団演奏会 大阪公演

NHK大阪ホール

指揮:ファビオ・ルイーゼ ヴァイオリン:フランチェスカ・デゴ

パガニーニ/ヴァイオリン協奏曲 第1番 二長調 作品6

チャイコフスキー/交響曲 第5番 ホ短調 作品64

主催:NHK大阪放送局/NHK交響楽団

お問合せ:NHK大阪ホールNHKイベントガイド TEL (06) 6947-5000

11/28日 3:00pm | NHK交響楽団定期演奏会 (愛知県芸術劇場シリーズ)

愛知県芸術劇場 コンサートホール

出演者・曲目は11月27日と同じ

主催:愛知県芸術劇場 / NHK名古屋放送局

お問合せ:愛知県芸術劇場 TEL (052) 211-7552

1/10日祝 2:00pm | 2022サンシティ・ニューイヤーコンサート NHK交響楽団

サンシティ越谷市民ホール

指揮:ケリー・リン・ウィルソン ソプラノ:森 麻季

ヨハン・シュトラウスII世 / 皇帝円舞曲 作品437

ヨハン・シュトラウスII世 / ボルカ「雷鳴と電光」 作品324

ヨハン・シュトラウスII世 / トリッチ・トラッチ・ボルカ 作品214

ヨハン・シュトラウスII世 / ワルツ「美しく青きドナウ」 作品314

マーラー / 交響曲 第4番 長調

主催:(公財)越谷市施設管理公社

お問合せ:越谷コミュニティセンター TEL (048) 985-1112

2/26日 3:00pm | NHK交響楽団 長岡特別演奏会

長岡市立劇場

指揮:高関 健 ヴァイオリン:南 紫音

チャイコフスキー / ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品35

ブラームス / 交響曲 第1番 ハ短調 作品68

主催:(公財)長岡市芸術文化振興財団

お問合せ:(公財)長岡市芸術文化振興財団 事業課(長岡リリックホール内) TEL (0258) 29-7715

オーチャード定期

Bunkamura オーチャードホール

10/2(土) 3:30pm

指揮:井上道義 ホルン:福川伸陽*

ショスタコーヴィチ / ロシアとキルギス民謡の主題による序曲 作品115

グリエール / ホルン協奏曲 変口長調 作品91

リムスキー・コルサコフ / 交響組曲「シェエラザード」 作品35

★当初予定のソリストから変更になりました。

1/8(土) 3:30pm

指揮:ケリー・リン・ウィルソン ソプラノ:森 麻季

ヨハン・シュトラウスII世 / 皇帝円舞曲 作品437

ヨハン・シュトラウスII世 / ボルカ「雷鳴と電光」 作品324

ヨハン・シュトラウスII世 / トリッチ・トラッチ・ボルカ 作品214

ヨハン・シュトラウスII世 / ワルツ「美しく青きドナウ」 作品314

マーラー / 交響曲 第4番ト長調

3/12(土) 3:30pm

指揮:原田慶太楼 ピアノ:小曾根 真*

バーンスタイン(メーソン編) / 「ウエスト・サイド・ストーリー」セレクション

ガーシュウィン / ラプソディ・イン・ブルー*

ロジャース&ハマースタインII / サウンド・オブ・ミュージック

ガーシュウィン(ベネット編) / 「ボーギーとベス」交響的絵画

主催・お問合せ: Bunkamura TEL (03) 3477-3244

NHK交響楽団

首席指揮者：パーヴォ・ヤルヴィ

名誉音楽監督：シャルル・デュトワ

桂冠名誉指揮者：ヘルベルト・ブロムシュテット

桂冠指揮者：ウラディーミール・アシケナージ

正指揮者：外山雄三、尾高忠明

第1コンサートマスター：篠崎史紀

コンサートマスター：伊藤亮太郎

ゲスト・コンサートマスター：白井 圭

第1ヴァイオリン

青木 調
字根京子
大鹿由希
倉富亮太
後藤 康
小林玉紀
高井敏弘
猶井悠樹
中村弓子
降旗貴雄
○松田拓之
宮川奈々
○森田昌弘
○山岸 努
□横島礼理
○横溝耕一

第2ヴァイオリン

○大林修子
○大宮臨太郎
木全利行
齋藤麻衣子
嶋田慶子
○白井 篤
○田中晶子
坪井きらら
丹羽洋輔
平野一彦
船木陽子
俣野賢仁
○三又治彦
矢津将也
山田慶一

横山俊朗
米田有花

村尾隆人

ヴィオラ

◎佐々木 亮
☆中村翔太郎
小野 聡
小島茂隆
□坂口弦太郎
谷口真弓
飛澤浩人
○中村洋乃理
松井直之
三国レイチェル由依
御法川雄矢
○村松 龍
山田雄司

チェロ

◎辻本 玲
◎藤森亮一
市 寛也
小島幸法
三戸正秀
中 実穂
○西山健一
○藤村俊介
宮坂拓志
村井 将
○山内俊輔
渡邊方子

コントラバス

◎吉田 秀
☆市川雅典
☆西山真二
稻川永示
○岡本 潤
今野 京
佐川裕昭
本間達朗
矢内陽子

フルート

◎甲斐雅之
◎神田寛明
梶川真步
菅原 潤
中村淳二

オーボエ

◎青山聖樹
◎吉村結実
池田昭子
坪池泉美
和久井 仁

クラリネット

◎伊藤 圭
◎松本健司
山根孝司

ファゴット

◎宇賀神広宣
◎水谷上総
佐藤由起
菅原恵子
森田 格

ホルン

◎今井仁志
◎福川伸陽
石山直城
勝俣 泰
木川博史
野見山和子

トランペット

◎菊本和昭
◎長谷川智之
安藤友樹
山本英司

トロンボーン

◎古賀 光
◎新田幹男
池上 亘
黒金寛行
吉川武典

テューバ

池田幸広

ティンパニ

◎植松 透
◎久保昌一

打楽器

石川達也
黒田英実
竹島悟史

ハープ

早川りさこ

ステージ・マネージャー

徳永匡哉
黒川大亮

ライブラリアン

沖 あかね
木村英代

(五十音順、◎首席、☆首席代行、○次席、□次席代行、#インスペクター)

特別支援・特別協力・賛助会員

Corporate Membership

特別支援

岩谷産業株式会社	代表取締役社長 間島 寛
三菱地所株式会社	執行役社長 吉田 淳一
株式会社 みずほ銀行	頭取 藤原弘治
公益財団法人 渋谷育英会	理事長 小丸成洋

特別協力

BMW ジャパン	代表取締役社長 Christian Wiedmann
全日本空輸株式会社	代表取締役社長 平子裕志
ヤマハ株式会社	代表執行役社長 中田卓也
株式会社 パレスホテル	代表取締役社長 吉原大介

賛助会員

・ 常陸宮	・ イーソリューションズ(株) 代表取締役社長 佐々木経世	・ SCSK(株) 代表取締役 社長執行役員 最高執行責任者 谷原 徹
・ (株)アートレイ 代表取締役 小森活美	・ EY新日本有限責任監査法人 理事長 片倉正美	・ (株)NHK アート 代表取締役社長 小野木昌史
・ (株)アイシン 取締役社長 吉田守孝	・ 池上通信機(株) 代表取締役社長 清森洋祐	・ (一財)NHK インターナショナル 理事長 黄木紀之
・ 葵設備工事(株) 代表取締役社長 安藤正明	・ 伊東国際特許事務所 会長 伊東忠彦	・ NHK 営業サービス(株) 代表取締役社長 山田哲生
・ アサヒグループホールディングス(株) 代表取締役社長兼CEO 勝木敦志	・ 井村屋グループ(株) 代表取締役会長 浅田剛夫	・ (株)NHK エデュケーションナル 代表取締役社長 田波宏視
・ (株)朝日工業社 代表取締役社長 高須康有	・ (株)インターネットイニシアティブ 代表取締役会長 鈴木幸一	・ (一財)NHK エンジニアリングシステム 理事長 黄木紀之
・ 朝日信用金庫 理事長 橋本 宏	・ (株)ウイングツァー 代表取締役 福田健二	・ (株)NHK エンタープライズ 代表取締役社長 松本浩司
・ 有限責任 あずさ監査法人 理事長 高波博之	・ AGC(株) 代表取締役兼社長執行役員 平井良典	・ (学)NHK 学園 理事長 篠原朋子
・ アットホーム(株) 代表取締役社長 鶴森康史	・ SMBC日興証券(株) 代表取締役会長 川崙靖之	・ (株)NHK グローバルメディアサービス 代表取締役社長 根本拓也

- ・(一財)NHK サービスセンター
理事長 | 黄木紀之
- ・(株)NHK出版
代表取締役社長 | 土井成紀
- ・(株)NHK テクノロジーズ
代表取締役社長 | 野口周一
- ・(株)NHK ビジネスクリエイト
代表取締役社長 | 石原 勉
- ・(株)NHK プロモーション
代表取締役社長 | 大美慶昌
- ・(株)NHK文化センター
代表取締役社長 | 田中剛志
- ・(一財)NHK放送研修センター
理事長 | 黄木紀之
- ・(株)NTTドコモ
代表取締役社長 | 井伊基之
- ・(株)NTTファンリティアーズ
代表取締役社長 | 松原和彦
- ・ENEOS ホールディングス(株)
代表取締役社長 社長執行役員
大田勝幸
- ・荏原冷熱システム(株)
代表取締役 | 庄野 道
- ・大崎電気工業(株)
代表取締役会長 | 渡辺佳英
- ・大塚ホールディングス(株)
代表取締役社長兼CEO | 樋口達夫
- ・(株)大林組
代表取締役社長 | 蓮輪賢治
- ・オールニッポンヘリコプター(株)
代表取締役社長 | 柳川 淳
- ・岡崎耕治
- ・岡山英世
- ・沖電気工業(株)
代表取締役社長執行役員 | 鎌上信也
- ・花王(株)
代表取締役 社長執行役員
長谷部佳宏
- ・カンオ計算機(株)
代表取締役社長 | 櫻尾和宏
- ・鹿島建設(株)
代表取締役社長 | 天野裕正
- ・(株)加藤電気工業所
代表取締役 | 加藤浩章
- ・角川歴彦
- ・(株)金子製作所
代表取締役 | 金子晴房
- ・カルチュア・エンタテインメント(株)
代表取締役社長 | 中西一雄
- ・(株)関電工
取締役社長 | 仲摩俊男
- ・(株)かんぼ生命保険
取締役兼代表執行役社長 | 千田哲也
- ・キッコーマン(株)
取締役名誉会長 | 茂木友三郎
- ・(株)CURIOUS PRODUCTIONS
代表取締役 | 黒川幸太郎
- ・(株)教育芸術社
代表取締役 | 市川かおり
- ・(株)共栄サービス
代表取締役 | 三宅国紀
- ・(株)共同通信会館
代表取締役専務 | 牧野和宏
- ・(一社)共同通信社
社長 | 水谷 亨
- ・キリンホールディングス(株)
代表取締役社長 | 磯崎功典
- ・キングレコード(株)
代表取締役 | 村上 潔
- ・(学)国立音楽大学
理事長 | 山田晴彦
- ・グラフエンブラットフォーム(株)
代表取締役 | 長谷川正治
- ・京王電鉄(株)
代表取締役 | 紅村 康
- ・京成電鉄(株)
代表取締役社長 | 小林敏也
- ・KDDI(株)
代表取締役社長 | 高橋 誠
- ・京浜急行電鉄(株)
取締役社長 | 原田一之
- ・(医)社団 恒仁会
理事長 | 伊藤恒道
- ・(株)コーポレートディレクション
代表取締役 | 石井光太郎
- ・(株)サウンド&ミュージック クリエーション
代表取締役 | 河合由里子
- ・佐川印刷(株)
代表取締役会長 | 木下宗昭
- ・(株)サコ コンサルタント
取締役 総務部長 | 大森 保
- ・佐藤弘康
- ・サフラン電機(株)
代表取締役 | 藤崎貴之
- ・(株)サンセイ
代表取締役社長 | 富田 稔
- ・サントリーホールディングス(株)
代表取締役社長 | 新浪剛史
- ・JCOM(株)
代表取締役社長 | 石川雄三
- ・(株)ジャパン・アーツ
代表取締役社長 | 二瓶純一
- ・(株)集英社
代表取締役社長 | 廣野眞一
- ・(株)小学館
代表取締役社長 | 相賀昌宏
- ・ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
- ・(株)白川プロ
代表取締役社長 | 白川亜弥
- ・新赤坂クリニック
院長 | 松木隆央
- ・信越化学工業(株)
代表取締役会長 | 金川千尋
- ・新菱冷熱工業(株)
代表取締役社長 | 加賀美 猛
- ・(株)スカパーJSATホールディングス
代表取締役社長 | 米倉英一
- ・(株)菅原
代表取締役社長 | 古江訓雄
- ・スズキ(株)
代表取締役社長 | 鈴木俊宏
- ・住友商事(株)
代表取締役社長執行役員 CEO
兵頭誠之
- ・住友電気工業(株)
社長 | 井上 治
- ・セイコーホールディングス(株)
代表取締役会長兼グループCEO兼グルー
プCCO
服部真二
- ・聖徳大学
学長 | 川並弘純
- ・西武鉄道(株)
取締役社長 | 喜多村樹美男

- ・ 関彰商事(株)
代表取締役会長 | 関 正夫
- ・ (株)セノン
代表取締役 | 小谷野宗靖
- ・ (株)ソニー・ミュージックエンタテインメント
代表取締役社長 CEO | 村松俊亮
- ・ 損害保険ジャパン(株)
代表取締役社長 | 西澤敬二
- ・ 第一三共(株)
代表取締役会長 | 中山讓治
- ・ ダイキン工業(株)
取締役社長 | 十河政則
- ・ 大成建設(株)
代表取締役社長 | 相川善郎
- ・ 高砂熱学工業(株)
代表取締役社長 | 小島和人
- ・ (株)タク
代表取締役 | 福田浩二
- ・ (株)竹中工務店
取締役執行役員社長 | 佐々木正人
- ・ 田中貴金属工業(株)
代表取締役社長執行役員
田中浩一朗
- ・ 田原 昇
- ・ チャンネル銀河(株)
代表取締役社長
住田和嘉子
- ・ 中央日本土地建物(株)
代表取締役社長 | 平松哲郎
- ・ 中外製薬(株)
代表取締役社長 | 奥田 修
- ・ (株)電通
代表取締役 社長執行役員 | 五十嵐 博
- ・ (株)TOKAIホールディングス
代表取締役社長 | 鶴田勝彦
- ・ 東海旅客鉄道(株)
代表取締役社長 | 金子 慎
- ・ 東急(株)
取締役社長 | 高橋和夫
- ・ (株)東急文化村
代表取締役社長 | 中野哲夫
- ・ 東京海上日動火災保険(株)
取締役社長 | 広瀬伸一
- ・ (株)東京交通会館
取締役社長 | 八木橋孝男
- ・ 東信地所(株)
代表取締役 | 堀川利通
- ・ 東武鉄道(株)
取締役社長 | 根津嘉澄
- ・ 桐朋学園大学
学長 | 梅津時比古
- ・ 東邦ホールディングス(株)
取締役最高顧問 | 濱田矩男
- ・ (株)東北新社
代表取締役社長 | 中島信也
- ・ (-財)凸版印刷三幸会
代表理事 | 金子眞吾
- ・ トヨタ自動車(株)
代表取締役社長 | 豊田章男
- ・ 内外施設工業グループホールディングス(株)
取締役会長 | 林 正道
- ・ 中銀グループ
代表 | 渡辺蔵人
- ・ 中山武之
- ・ 日鉄興和不動産(株)
代表取締役社長 | 今泉泰彦
- ・ 日東紡績(株)
取締役 代表執行役員社長 | 辻 裕一
- ・ 日本ガイン(株)
取締役社長 | 小林 茂
- ・ (株)日本国際放送
代表取締役社長 | 高尾 潤
- ・ 日本通運(株)
代表取締役社長 | 齋藤 充
- ・ 日本電気(株)
代表取締役執行役員社長 | 森田隆之
- ・ (-財)日本放送協会 共済会
理事長 | 谷弘聡史
- ・ 日本郵政(株)
取締役兼代表執行役員社長 | 増田寛也
- ・ (株)ニフコ
代表取締役社長 | 柴尾雅春
- ・ (株)日本デジコム
代表取締役 | 竹井裕二
- ・ 野村ホールディングス(株)
代表執行役員社長 | 奥田健太郎
- ・ パナソニック(株)
代表取締役 社長執行役員 CEO
楠見雄規
- ・ (有)パルフェ
代表取締役 | 伊藤良彦
- ・ 東日本電信電話(株)
代表取締役社長 | 井上福造
- ・ (株)日立製作所
執行役員社長 | 東原敏昭
- ・ (株)フォトロン
代表取締役 | 瀧水 隆
- ・ 福田三千男
- ・ 富士通(株)
代表取締役社長 | 時田隆仁
- ・ 富士通フロンテック(株)
代表取締役社長 | 川上博彦
- ・ 古川建築音響研究所
所長 | 古川宣一
- ・ (株)朋栄ホールディングス
代表取締役 | 清原慶三
- ・ (株)放送衛星システム
代表取締役社長 | 井上樹彦
- ・ (公助)放送文化基金
理事長 | 濱田純一
- ・ ホクト(株)
代表取締役 | 水野雅義
- ・ 前田工織(株)
代表取締役社長兼COO | 前田尚宏
- ・ (株)松尾楽器商会
代表取締役 | 松尾治樹
- ・ 丸紅(株)
代表取締役社長 | 柿木真澄
- ・ 溝江建設(株)
代表取締役社長 | 溝江 弘
- ・ 三井住友海上火災保険(株)
代表取締役 | 船曳真一郎
- ・ (株)三井住友銀行
頭取 | 高島 誠
- ・ 三菱商事(株)
代表取締役社長 | 垣内威彦
- ・ 三菱電機(株)
執行役員社長 | 漆間 啓
- ・ (株)緑山スタジオ・シティ
代表取締役社長 | 難波一弘
- ・ 三橋産業(株)
代表取締役会長 | 三橋洋之
- ・ 三原穂積

- ・(学)武蔵野音楽学園
理事長 | 福井直敬
- ・(株)明治
代表取締役社長 | 松田克也
- ・(株)明電舎
取締役社長 | 三井田 健
- ・(株)目の眼
代表 | 櫻井 恵
- ・森ビル(株)
代表取締役社長 | 辻 慎吾
- ・森平舞台機構(株)
代表取締役 | 森 健輔
- ・矢下茂雄
- ・山田産業(株)
代表取締役 | 山田裕幸
- ・(株)山野楽器
代表取締役社長 | 山野政彦
- ・(株)ヤマハミュージックジャパン
代表取締役社長 | 押木正人
- ・ユニオンツール(株)
代表取締役会長 | 片山貴雄
- ・米澤文彦
- ・(株)読売広告社
代表取締役社長 | 藤沼大輔
- ・(株)読売旅行
代表取締役社長 | 坂元 隆
- ・リコージャパン(株)
代表取締役 社長執行役員
坂主智弘
- ・料亭 三長
代表 | 高橋千善
- ・(株)リンレイ
代表取締役社長 | 鈴木信也
- ・(有)ルナ・エンタープライズ
代表取締役 | 戸張誠二
- ・ローム(株)
代表取締役社長 社長執行役員
松本 功
- ・YKアクロス(株)
代表取締役社長 | 中野健次

(五十音順、敬称略)

NHK交響楽団への ご寄付について

NHK交響楽団は多くの方々の貴重なご寄付に支えられて、積極的な演奏活動を展開しております。定期公演の充実をはじめ、著名な指揮者・演奏家の招聘、意欲あふれる特別演奏会の実現、海外公演の実施など、今後も音楽文化の向上に努めてまいりますので、みなさまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

「賛助会員」入会のご案内

NHK交響楽団は賛助会員制度を設け、上記の方々にご支援をいただいております。当団の経営基盤を支える大きな柱となっております。会員制度の内容は次の通りです。

■当団は「公益財団法人」として認定されています。

当団は芸術の普及向上を行うことを主目的とする法人として「公益財団法人」の認定を受けているため、当団に対する寄付金は税制上の優遇措置の対象となります。

1. 会費：一口50万円(年間)
2. 期間：入会は随時、年会費をお支払いいただいたときから1年間
3. 入会の特典：『フィルハーモニー』、『年間パンフレット』、『第9』演奏会プログラム等にご芳名を記載させていただきます。

N響主催公演のご鑑賞の機会を設けます。

遺贈のご案内

資産の遺贈(遺言による寄付)を希望される方々のご便宜をお図りするために、NHK交響楽団では信託銀行が提案する「遺言信託制度」をご紹介します(三井住友信託銀行と提携)。相続財産目録の作成から遺産分割手続の実施まで、煩雑な相続手続を信託銀行が有償で代行いたします。まずはN響寄付担当係へご相談ください。

お問い合わせ

公益財団法人 NHK交響楽団「寄付担当係」

TEL: 03-5793-8120

曲目解説執筆者

太田峰夫(おた みねお)

宮城学院女子大学教授。おもな研究領域は20世紀ハンガリー音楽史、とりわけバルトークの音楽。音楽専門誌への寄稿のほか、著書に『バルトーク 音楽のプリミティヴィズム』、共訳書に『バルトーク音楽論選』、論文に『音楽のナショナリズムとその周囲——ヨーゼフ・ヨアヒムとハンガリーとの関係を中心に』など。

久保田慶一(くぼた けいいち)

東京経済大学客員教授、桐朋学園芸術短期大学および放送大学各講師。専門は西洋音楽史および音楽理論。著書に『バッハ』(作曲家・人と作品シリーズ)、『音楽分析の歴史——ムシカ・ポエティカからシエンカー分析へ』『バツ

ハキーワード事典』、共著に『楽譜でわかる20世紀音楽』『音楽用語の基礎知識——これから学ぶ人のための最重要キーワード100』など。

小宮正安(こみや まさやす)

横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授。専門はヨーロッパ文化史、ドイツ文学。著書に『コンスタンツェ・モーツァルト——「悪妻」伝説の虚実』『ヨハン・シュトラウス——ワルツ王と落日のウィーン』、訳書に『ウィーン・フィル コンサートマスターの楽屋から』『チャールズ・バーニー音楽見聞録〈ドイツ篇〉』など。

(五十音順、敬称略)

Information

期間限定の
オウンドメディア
「みんなの
N響アワー」
開始

みんなのN響アワー

みんなのN響アワー | NHK交響楽団

みんなのN響アワーって?

はじめまして、東京芸術劇場。

#1 クラシックと、ポップスは、絡めました。

クラシックを源流に持つ若手ポップ・アーティストがN響の楽員と語り合ったり、9月から定期公演の会場に加わる東京芸術劇場を第1コンサートマスター篠崎史紀が巡ったり……。

N響の隠れた魅力が詰まった“おもちゃ箱”のように、楽しいコンテンツを用意しました。

クラシックになじみのない方たちにも、一度会場に行きたくなるようなさまざまな音楽の楽しみ方をお伝えしてまいります。



<https://note.nhkso.or.jp>

訃報

当団元ヴァイオリン奏者(1950年9月入団)で団友の尾原恒(おばら ひさし)氏が2021年6月8日に逝去されました。享年93。謹んでご冥福をお祈りいたします。

みなさまの声をお聞かせください！

インターネットアンケートにご協力ください

今後のN響の公演に生かすため、インターネットアンケートを始めました。
ぜひ皆様のお声をお寄せください。ご協力お願いいたします。

アクセス方法

STEP

1



スマートフォンで右の
QRコードを読み取る。
またはURLを入力
[https://www.nhkso.or.jp/
enquete.html](https://www.nhkso.or.jp/enquete.html)



STEP

2



開いたリンク先からアンケートサイトに入る

STEP

3



アンケートに答えて(約5分)、
「送信」を押して完了！

ほかにもご意見・ご感想がありましたらお寄せください。
会場入口の主催者受付に設置の「ご意見回収箱」に投函いただくか、
〒108-0074 東京都港区高輪2-16-49 NHK交響楽団 フィルハーモニー編集までお送りください。

ふりがな		年齢	歳
お名前		TEL	

個人情報の取り扱いについて

ご提供いただいた個人情報は、必要な場合、ご記入者様への連絡のみに使用し、他の目的に使用いたしません。

NHK SYMPHONY ORCHESTRA, TOKYO

Chief Conductor: Paavo Järvi

Music Director Emeritus: Charles Dutoit

Honorary Conductor Laureate: Herbert Blomstedt

Conductor Laureate: Vladimir Ashkenazy

Permanent Conductors: Yuzo Toyama, Tadaaki Otaka

First Concertmaster: Fuminori Maro Shinozaki

Concertmaster: Ryotaro Ito

Guest Concertmaster: Kei Shirai

1st Violins

Shirabe Aoki
Kyoko Une
Yuki Oshika
Ryota Kuratomi
Ko Goto
Tamaki Kobayashi
Toshihiro Takai
Yuki Naoi
Yumiko Nakamura
Takao Furihata
○ Hiroyuki Matsuda
Nana Miyagawa
○ Masahiro Morita
○ Tutomu Yamagishi
□ Masamichi Yokoshima
○ Koichi Yokomizo

2nd Violins

○ Nobuko Obayashi
○ Rintaro Omiya
Toshiyuki Kimata
Maiko Saito
Keiko Shimada
○ Atsushi Shirai
○ Akiko Tanaka
Kirara Tsuboi
Yosuke Niwa
Kazuhiko Hirano
Yoko Funaki
Kenji Matano
○ Haruhiko Mimata
Masaya Yazu
Yoshikazu Yamada
Toshiro Yokoyama
Yuka Yoneda

Ryuto Muraō

Violas

◎ Ryo Sasaki
☆ Shotaro Nakamura
Satoshi Ono
Shigetaka Obata
□ Gentaro Sakaguchi
Mayumi Taniguchi
Hiroto Tobisawa
○ Hironori Nakamura
Naoyuki Matsui
Rachel Yui Mikuni
Yuya Minorikawa
○ Ryo Muramatsu
Yuji Yamada

Cellos

◎ Rei Tsujimoto
◎ Ryoichi Fujimori
Hiroya Ichi
Yukinori Kobatake
Masahide Sannohe
Miho Naka
○ Ken'ichi Nishiyama
○ Shunsuke Fujimura
Hiroshi Miyasaka
Yuki Murai
○ Shunsuke Yamanouchi
Masako Watanabe

Contrabasses

◎ Shu Yoshida
☆ Masanori Ichikawa
☆ Shinji Nishiyama
Eiji Inagawa
○ Jun Okamoto
Takashi Konno
Hiroaki Sagawa
Tatsuro Honma
Yoko Yanai

Flutes

◎ Masayuki Kai
◎ Hiroaki Kanda
Maho Kajikawa
Jun Sugawara
Junji Nakamura

Oboes

◎ Satoki Aoyama
◎ Yumi Yoshimura
Shoko Ikeda
Izumi Tsuboike
Hitoshi Wakui

Clarinets

◎ Kei Ito
◎ Kenji Matsumoto
Takashi Yamane

Bassoons

◎ Hironori Ugajin
◎ Kazusa Mizutani
Yuki Sato
Keiko Sugawara
Itaru Morita

Horns

◎ Hitoshi Imai
◎ Nobuaki Fukukawa
Naoki Ishiyama
Yasushi Katsumata
Hiroshi Kigawa
Kazuko Nomiya

Trumpets

◎ Kazuaki Kikumoto
◎ Tomoyuki Hasegawa

Tomoki Ando
Eiji Yamamoto

Trombones

◎ Hikaru Koga
◎ Mikio Nitta
Ko Ikegami
Hiroyuki Kurogane
Takenori Yoshikawa

Tuba

Yukihiro Ikeda

Timpani

◎ Toru Uematsu
◎ Shoichi Kubo

Percussion

Tatsuya Ishikawa
Hidemi Kuroda
Satoshi Takeshima

Harp

Risako Hayakawa

Stage Manager

Masaya Tokunaga
Daisuke Kurokawa

Librarian

Akane Oki
Hideo Kimura

(◎)Principal, (☆)Acting Principal, (○)Vice Principal, (□)Acting Vice Principal, (#)Inspector

The Subscription Concerts Program 2021–22

2021
09

ikebukuro A	Concert No. 1938 September 25 (Sat) 6:00pm 26 (Sun) 2:00pm Tokyo Metropolitan Theatre	Mozart Clarinet Concerto A Major K. 622 Mahler Symphony No. 1 D Major "Titan" Ryusuke Numajiri, conductor Kei Ito, clarinet* *The soloist has changed from original plan.	Ordinary Ticket S 8,900 A 7,400 B 5,800 C 4,700 D 3,700	Youth Ticket S 5,500 A 4,500 B 3,500 C 2,500 D 1,500
	Concert No. 1937 September 15 (Wed) 7:00pm 16 (Thu) 7:00pm Suntory Hall	Bach Suite No. 3 D Major BWV1068 C. P. E. Bach Sinfonia B-flat Major* C. P. E. Bach Sinfonia D Major* Haydn Symphony No. 98 B-flat Major Hob. I-98 Hidemitsu Suzuki, conductor* *The performer and program have changed from the original plan.	Ordinary S 8,900 A 7,400 B 5,800 C 4,700 D 3,700	Youth S 5,500 A 4,500 B 3,500 C 2,500 D 1,500
ikebukuro C	Concert No. 1936 September 10 (Fri) 7:30pm 11 (Sat) 2:00pm Tokyo Metropolitan Theatre	Bartók "The Miraculous Mandarin," suite Bartók Concerto for Orchestra Paavo Järvi, conductor	Ordinary S 7,400 A 6,500 B 5,200 C 4,200 D 3,200	Youth S 4,500 A 4,000 B 3,000 C 2,000 D 1,400

2021
10

ikebukuro A	Concert No. 1939 October 16 (Sat) 6:00pm 17 (Sun) 2:00pm Tokyo Metropolitan Theatre	Brahms Violin Concerto D Major Op. 77 Nielsen Symphony No. 5 Op. 50 Herbert Blomstedt, conductor Leonidas Kavakos, violin	Ordinary S 9,800 A 8,400 B 6,700 C 5,400 D 4,400	Youth S 5,800 A 4,800 B 3,800 C 2,800 D 1,800
	Concert No. 1941 October 27 (Wed) 7:00pm 28 (Thu) 7:00pm Suntory Hall	Stenhammar Serenade F Major Op. 31 Beethoven Symphony No. 5 C Minor Op. 67 Herbert Blomstedt, conductor	Ordinary Ticket S 9,800 A 8,400 B 6,700 C 5,400 D 4,400	Youth Ticket S 5,800 A 4,800 B 3,800 C 2,800 D 1,800
ikebukuro C	Concert No. 1940 October 22 (Fri) 7:30pm 23 (Sat) 2:00pm Tokyo Metropolitan Theatre	Grieg "Peer Gynt," suite No. 1 Op. 46 Dvořák Symphony No. 8 G Major Op. 88 Herbert Blomstedt, conductor	Ordinary S 7,400 A 6,500 B 5,200 C 4,200 D 3,200	Youth S 4,500 A 4,000 B 3,000 C 2,000 D 1,400

2021
11

ikebukuro A	Concert No. 1942 November 13 (Sat) 6:00pm 14 (Sun) 2:00pm Tokyo Metropolitan Theatre	Weber "Der Freischütz," opera Op. 77– Overture Liszt Piano Concerto No. 2 A Major Franz Schmidt Symphony No. 2 E-flat Major Fabio Luisi, conductor Alessandro Taverna, piano	Ordinary S 9,800 A 8,400 B 6,700 C 5,400 D 4,400	Youth S 5,800 A 4,800 B 3,800 C 2,800 D 1,800
	Concert No. 1944 November 24 (Wed) 7:00pm 25 (Thu) 7:00pm Suntory Hall	Paganini Violin Concerto No. 1 D Major Op. 6 Tchaikovsky Symphony No. 5 E Minor Op. 64 Fabio Luisi, conductor Francesca DeGo, violin	Ordinary S 9,800 A 8,400 B 6,700 C 5,400 D 4,400	Youth S 5,800 A 4,800 B 3,800 C 2,800 D 1,800
ikebukuro C	Concert No. 1943 November 18 (Thu) 7:30pm* 19 (Fri) 7:30pm Tokyo Metropolitan Theatre	Bruckner Symphony No. 4 E-flat Major "Romantische" Fabio Luisi, conductor *The concert (C-2) usually held on Saturday will be held on Thursday at 7:30p.m. this month.	Ordinary S 7,400 A 6,500 B 5,200 C 4,200 D 3,200	Youth S 4,500 A 4,000 B 3,000 C 2,000 D 1,400

A **Tokyo Metropolitan Theatre**
Sat. 6:00pm (doors open at 5:00pm)
Sun. 2:00pm (doors open at 1:00pm)

B **Suntory Hall**
Wed. 7:00pm (doors open at 6:20pm)
Thu. 7:00pm (doors open at 6:20pm)

C **Tokyo Metropolitan Theatre**
Fri. 7:30pm (doors open at 6:30pm)
Sat. 2:00pm (doors open at 1:00pm)

2021
12

Concert No. **1945**

December

4 (Sat) 6:00pm

5 (Sun) 2:00pm

Tokyo Metropolitan Theatre

A

Brahms "Variationen über ein Thema von Haydn," Op. 56a
R. Strauss 4 Letzte Lieder
Schönberg "Verklärte Nacht," Op. 4

Kazuki Yamada, conductor
Noriko Sasaki, soprano

Ordinary Ticket	Youth Ticket
S 8,900	S 5,500
A 7,400	A 4,500
B 5,800	B 3,500
C 4,700	C 2,500
D 3,700	D 1,500

Concert No. **1947**

December

15 (Wed) 7:00pm

16 (Thu) 7:00pm

Suntory Hall

B

Haydn Symphony No. 22 E-flat Major Hob. I-22 "Der Philosoph"
HK Gruber Aerial* [Japan Première]
R. Strauss
"Also sprach Zarathustra," Tondichtung frei nach Nietzsche Op. 30

Dima Slobodeniouk, conductor
Håkan Hardenberger, trumpet*

Ordinary	Youth
S 8,900	S 5,500
A 7,400	A 4,500
B 5,800	B 3,500
C 4,700	C 2,500
D 3,700	D 1,500

Concert No. **1946**

December

10 (Fri) 7:30pm

11 (Sat) 2:00pm

Tokyo Metropolitan Theatre

C

Tchaikovsky "Variations on a Rococo Theme," Op. 33
Mussorgsky / Ravel Tableaux d'une exposition," suite

Vasily Petrenko, conductor
Daniel Müller-Schott, cello

Ordinary	Youth
S 7,400	S 4,500
A 6,500	A 4,000
B 5,200	B 3,000
C 4,200	C 2,000
D 3,200	D 1,400

2022
01

Concert No. **1948**

January

15 (Sat) 6:00pm

16 (Sun) 2:00pm

Tokyo Metropolitan Theatre

A

Chopin / Glazunov
Polonaise A Major Op. 40-1 "Polonaise militaire" (Orchestral Version)
Chopin / Stravinsky Nocturne A-flat Major Op. 32-2 (Orchestral Version)
Paderewski Fantaisie polonaise sur des thèmes originaux G Minor Op. 19*
Stravinsky "L'oiseau de feu," ballet (1910 Edition)

Keitaro Harada, conductor Kyohei Sorita, piano*

Ordinary	Youth
S 8,900	S 5,500
A 7,400	A 4,500
B 5,800	B 3,500
C 4,700	C 2,500
D 3,700	D 1,500

Concert No. **1950**

January

26 (Wed) 7:00pm

27 (Thu) 7:00pm

Suntory Hall

B

Prokofiev "War and Peace," opera-Waltz
Prokofiev Piano Concerto No. 3 C Major Op. 26
Prokofiev Symphony No. 5 B-flat Major Op. 100

Tugan Sokhiev, conductor
Haochen Zhang, piano

Ordinary	Youth
S 8,900	S 5,500
A 7,400	A 4,500
B 5,800	B 3,500
C 4,700	C 2,500
D 3,700	D 1,500

Concert No. **1949**

January

21 (Fri) 7:30pm

22 (Sat) 2:00pm

Tokyo Metropolitan Theatre

C

Bruch Violin Concerto No. 1 G Minor Op. 26
Brahms Symphony No. 3 F Major Op. 90

Tugan Sokhiev, conductor
Vadim Gluzman, violin

Ordinary	Youth
S 7,400	S 4,500
A 6,500	A 4,000
B 5,200	B 3,000
C 4,200	C 2,000
D 3,200	D 1,400

2022
02

Concert No. **1951**

February

5 (Sat) 6:00pm

6 (Sun) 2:00pm

Tokyo Metropolitan Theatre

A

Brahms Piano Concerto No. 2 B-flat Major Op. 83
Schumann Symphony No. 2 C Major Op. 61

Paavo Järvi, conductor
Igor Levit, piano

Ordinary	Youth
S 9,800	S 5,800
A 8,400	A 4,800
B 6,700	B 3,800
C 5,400	C 2,800
D 4,400	D 1,800

Concert No. **1953**

February

16 (Wed) 7:00pm

17 (Thu) 7:00pm

Suntory Hall

B

Britten "Peter Grimes," opera-Four Sea Interludes Op. 33a
Barber Violin Concerto Op. 14
Elgar Variations on an Original Theme Op. 36 "Enigma"

Paavo Järvi, conductor
Hilary Hahn, violin

Ordinary	Youth
S 9,800	S 5,800
A 8,400	A 4,800
B 6,700	B 3,800
C 5,400	C 2,800
D 4,400	D 1,800

Concert No. **1952**

February

11 (Fri) 7:30pm

12 (Sat) 2:00pm

Tokyo Metropolitan Theatre

C

R. Strauss Symphonic Fragment from "Josephs Legende," ballet
R. Strauss Eine Alpensinfonie Op. 64

Paavo Järvi, conductor

Ordinary	Youth
S 7,400	S 4,500
A 6,500	A 4,000
B 5,200	B 3,000
C 4,200	C 2,000
D 3,200	D 1,400

2022
04

ikebukuro A	Concert No. 1954	Dvořák "Carnival," overture Op. 92 Mozart Flute Concerto No. 1 G Major K. 313 Beethoven Symphony No. 7 A Major Op. 92	Ordinary Ticket S 9,800 A 8,400 B 6,700 C 5,400 D 4,400	Youth Ticket S 5,800 A 4,800 B 3,800 C 2,800 D 1,800
	April 9 (Sat) 6:00pm 10 (Sun) 2:00pm Tokyo Metropolitan Theatre	Christoph Eschenbach, conductor Stathis Karapanos, flute		
B		Due to the renovation of Suntory Hall, April 2022 concerts will be cancelled.		

ikebukuro C	Concert No. 1955	Mahler Symphony No. 5 C-sharp Minor	Ordinary S 7,400 A 6,500 B 5,200 C 4,200 D 3,200	Youth S 4,500 A 4,000 B 3,000 C 2,000 D 1,400
	April 15 (Fri) 7:30pm 16 (Sat) 2:00pm Tokyo Metropolitan Theatre	Christoph Eschenbach, conductor		

2022
05

ikebukuro A	Concert No. 1956	Schumann Violin Concerto D Minor Schubert Symphony No. 8 C Major D. 944 "Die Große"	Ordinary S 8,900 A 7,400 B 5,800 C 4,700 D 3,700	Youth S 5,500 A 4,500 B 3,500 C 2,500 D 1,500
	May 14 (Sat) 6:00pm 15 (Sun) 2:00pm Tokyo Metropolitan Theatre	Marek Janowski, conductor Alena Baeva, violin		

ikebukuro B	Concert No. 1958	Mendelssohn "Meeresstille und glückliche Fahrt," overture Op. 27 Ravel Piano Concerto G Major Rimsky-Korsakov "Schéhérazade," symphonic suite Op. 35	Ordinary S 9,800 A 8,400 B 7,000 C 5,400 D 4,400	Youth S 5,800 A 4,800 B 3,800 C 2,800 D 1,800
	May 25 (Wed) 7:00pm 26 (Thu) 7:00pm Suntory Hall	Fabio Luisi, conductor Yu Kosuge, piano		

ikebukuro C	Concert No. 1957	Mozart "Don Giovanni," opera K. 527 - overture Mozart Piano Concerto No. 20 D Minor K. 466 Beethoven Symphony No. 8 F Major Op. 93	Ordinary S 7,400 A 6,500 B 5,200 C 4,200 D 3,200	Youth S 4,500 A 4,000 B 3,000 C 2,000 D 1,400
	May 20 (Fri) 7:30pm 21 (Sat) 2:00pm Tokyo Metropolitan Theatre	Fabio Luisi, conductor Alexander Melnikov, piano		

2022
06

ikebukuro A	Concert No. 1959	Dukas "La Péri," poème dansé (With its appended Fanfare) Ravel Schéhérazade* Debussy Prélude à l'après-midi d'un faune Florent Schmitt "La tragédie de Salomé," ballet suite Op. 57	Ordinary S 8,900 A 7,400 B 5,800 C 4,700 D 3,700	Youth S 5,500 A 4,500 B 3,500 C 2,500 D 1,500
	June 11 (Sat) 6:00pm 12 (Sun) 2:00pm Tokyo Metropolitan Theatre	Stéphane Denève, conductor Stéphanie d'Oustrac, mezzo soprano*		

ikebukuro B	Concert No. 1961	Bach / Suzuki Passacaglia and Fugue C Minor BWV582 Britten Violin Concerto Op. 15 Mozart Symphony No. 41 C Major K. 551 "Jupiter"	Ordinary S 8,900 A 7,400 B 5,800 C 4,700 D 3,700	Youth S 5,500 A 4,500 B 3,500 C 2,500 D 1,500
	June 22 (Wed) 7:00pm 23 (Thu) 7:00pm Suntory Hall	Masato Suzuki, conductor Sunao Goko, violin		

ikebukuro C	Concert No. 1960	Poulenc "Les biches," ballet suite Poulenc Organ Concerto G Minor Gershwin An American in Paris	Ordinary S 7,400 A 6,500 B 5,200 C 4,200 D 3,200	Youth S 4,500 A 4,000 B 3,000 C 2,000 D 1,400
	June 17 (Fri) 7:30pm 18 (Sat) 2:00pm Tokyo Metropolitan Theatre	Stéphane Denève, conductor Olivier Latry, organ		

(consumption tax included)

All performers and programs are subject to change or cancellation depending on the circumstances.

しなやかな響き 颯爽とした無伴奏

J.S. バッハ

無伴奏チェロ組曲

木越 洋

[CD]
MM-4086-87(2CD) / ¥4,400



屈指の奏者、木越洋による待望の「無伴奏チェロ組曲」。同作品の全曲演奏会を20数年に渡り毎年開催、通算では100回を優に越えるという。長きに渡り作品と対峙してきた奏者だからこそ、「組曲」それぞれのイメージ溢れる深い解釈は、作品の新たな側面を示し、聴く者を魅了します。また、濁りの無い響きを求め、倍音を意識した独自の細やかなチューニングに取り組む木越。そのニュアンス豊かな響きを高解像度録音で録えました。



鮮やかなギターと優美なオーボエの歌

白鳥の歌

オーボエとギターの作品集

池田 昭子 Ob 福田 進一 G

ナポレオン・コスト・ロマンス、カンティレーナ、高地
カー・ピルス：オーボエとギターのためのソナチネ
シューベルト（コスト編）：セレナーテ、舟歌、他



[CD] MM-4069 / ¥3,300

お互いの持ち味を引き立て、抜群に相性の良い響きを聴かせてくれる、ダブルリードと撥弦楽器による二重奏。オリジナル作品を軸に、池田昭子によるオーボエとイングリッシュホルンの甘美な歌が冴える、歌曲を交えてのプログラム。世界的ギタリスト、福田進一との注目のコラボレーションです。

荘重な響きが降り注ぐ！圧巻の作品集

シャコンヌ チェロ・クアルテット K



安田 謙一郎 1st, 藤村 俊介 2nd, 宮坂 拓志 3rd, 木越 洋 4th

J. S. バッハ：シャコンヌ/グズネツォフ組曲 [CD]
ラヴェル：亡き女王のためのパヴァーヌ、他 MM-4081 / ¥3,300

カサドやフルニエといった名だたる巨匠に師事し、国内外でチェリスト・作曲家として活躍する、重鎮、安田謙一郎。彼を筆頭に、その門下が集った「チェロ・クアルテットK」。プログラムは、ヴァルガの名編曲で人気も高い「シャコンヌ」に、録音希少なオリジナル作品の「グズネツォフ組曲」など。これら個性溢れる作品を、変化に富んだ荘重な響きで聴かせる、注目盤です。



ハイレゾDXD384で聴くクラシック mora x マイスター・ミュージック →



MEISTER MUSIC
<http://www.meister-music.com>

DXD384kHz
ハイレゾ・レコーディング

マイスター・ミュージックは 邦人初のディプロム・トーン・マイスター・主宰
高音質ハイレゾ録音&マスタリングのクラシック音楽専門レーベルです

「良い教育は、
良い環境から」

— 学園創立者 —



川並 香順 川並 孝子



《幼稚園から大学院まで計18の教育機関》

*実就職率 **96.3%** *教育系就職率 **8年連続 100%**

*保育士採用数 **15年連続全国1位*** *幼稚園教員採用数 **8年連続 14回目 全国1位***

※2020年 大学通信調べ



SEITOKU

聖徳大学 (女子)

聖徳大学短期大学部 (女子)

〒271-8555

千葉県松戸市岩瀬 550

TEL.047-365-1111(大代表)

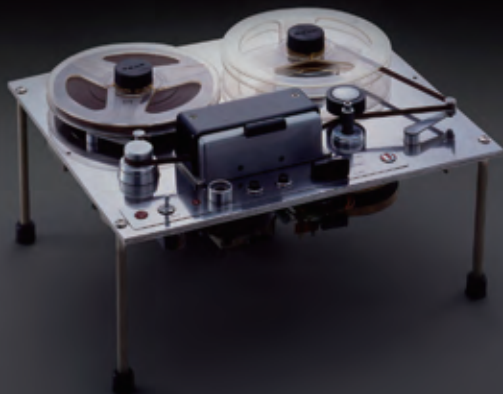
聖徳大学

検索

<https://www.seitoku-u.ac.jp/>

聖徳大学大学院 聖徳大学教職大学院 聖徳大学 聖徳大学短期大学部 聖徳大学幼児教育専門学校
光英 VERITAS 高等学校 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校 光英 VERITAS 中学校
聖徳大学附属取手聖徳女子中学校 聖徳大学附属小学校 聖徳大学三田幼稚園 聖徳大学八王子幼稚園
聖徳大学多摩幼稚園 聖徳大学附属幼稚園 聖徳大学附属第二幼稚園 聖徳大学附属成田幼稚園
聖徳大学附属浦安幼稚園 聖徳大学オープン・アカデミー (SOA)

変わらない原点。
それは、音楽を愛する人に良い音をただ一途に届ける事。



1953年東京の西で、一人の才能あるオーディオ技術者、谷勝馬によりティアックは生まれました。
私たちのオーディオ製品は録音と原音再生への挑戦の歴史であったといっても過言ではありません。

1964年の東京オリンピックで世界初のスローモーションビデオレコーダーが、
アスリートの躍動する動きの一つ一つを克明に記録しました。1977年公開のスターウォーズ第一作目で、
あのR2-D2の声が録音されました。そして1982年ブルース・スプリングスティーンの
名盤「ネブラスカ」はティアックのレコーダーを使って、彼の部屋で生まれました。

ミュージシャンの演奏やエンジニアの意図を忠実に録音し、そのままリスナーの耳に鮮明に届けたい、
そういった思いを込めて数々のオーディオ製品を生み出してきました。

オープンリールデッキの時代からハイレゾ再生のデジタル時代へ、
メディアは大きく変遷してきましたが、ティアックの思いはいつも同じです。

これからも、音楽を愛する人だけの為に、こだわりぬいた製品をお届けしていきます。



TEAC

ティアックは1953年創業の日本のオーディオブランドです。



古美術・骨董月刊誌

モノが語る“声”を届ける

古陶磁、仏教美術、茶道具、書画、刀剣などジャンルも幅広く、中身も濃く。国内外の文化人や芸術家、美術商たちの声も集め、“旬な古美術”をお伝えしています。



ME NO ME
SINCE 1977

目ノ眼

2021年9月号 特集 文人の眼

潮田洋一郎／田島充／茂木健一郎／青木淳ほか

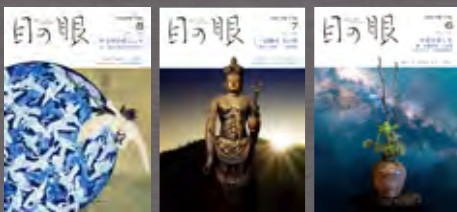
毎月15日発売 定価1,320円(税込)

お求めは書店 目ノ眼HP Amazonにて

毎月 最新号WEB 無料公開

お得な定期購読がおすすめ

- ご指定の号から1年間12冊 ¥10,000 (消費税) (送料込) 毎月ご自宅のポストまでお届け
- 定期購読者限定 WEB サイトでデジタル版バックナンバー読み放題 2013年4月号から公開中



【ご注文は目ノ眼ホームページから】



株式会社 目ノ眼

東京都港区麻布十番2-5-13 丸井ビル4F TEL.03-6721-1152

<https://menomeonline.com>

NHK
音楽祭
～未来へ～
2021
MEET the CLASSICS

NHK交響楽団

指揮：尾高忠明 ピアノ：第18回ショパン国際ピアノコンクール最高位(予定)



Tadaaki
Otaka

© Martin Richardson

ショパンコンクールからの凱旋!!
世界が見つめる才能が紡ぐ、妙なる響き。
N響との絆も強い名指揮者による
ショスタコーヴィチにも期待!



Chopin
Piano Competition
Winner



ショパン/ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 作品11

または ピアノ協奏曲 第2番 ヘ短調 作品21

Chopin: Piano Concerto No.1 E minor Op.11 or No.2 F minor Op.21

ショスタコーヴィチ/交響曲 第5番 ニ短調 作品47

Shostakovich: Symphony, No.5 in D minor, Op.47

2021年11月8日(月) 19:00開演 (18:00開場/21:00終演予定) **Bunkamura オーチャードホール**
S席:¥8,500 A席:¥6,500 B席:¥5,500 C席:¥3,500 (消費税込) **前売券 好評販売中**

※チケットのご購入前に必ず、NHK音楽祭ホームページ (<https://www.nhk-p.co.jp/>) で新型コロナウイルス感染症予防対策についてご確認ください。ご了承のうえ、ご購入・ご来場をお願い致します。
※出演者・曲目・開演時間等に変更が生じる場合があります。その場合のチケットのお申し込み・購入後の変更、キャンセル、払い戻しはできません。※観学前のお子様同伴・入場はご遠慮ください。

N響ガイド

TEL. 03-5793-8161

(受付:火曜日～金曜日 11:00～17:00)

※祝日・休日をのぞく。※電話受付のみ

Bunkamura

オンラインチケットMY Bunkamura

<https://mybun.jp> (24時間対応)

Bunkamuraチケットセンター

03-3477-9999 (オペレーター対応 10:00～17:00)

Bunkamuraチケットカウンター

(Bunkamura 1F 10:00～18:00)

チケットぴあ Pコード 199-056

0570-02-9999 (音声応答電話予約)

※毎週火・水 2:30～5:30は、システムメンテナンスのため受付休止となります。

<https://w.pia.jp/t/nhkfes/>

(インターネット受付)

イープラス

<https://eplus.jp/nhk/>

(インターネット受付)

主催：NHK、NHKプロモーション

共催：NHK交響楽団 協賛：岩谷産業

協賛：TOKAIグループ MIZUHO みずほ銀行

NHK音楽祭2021 Line Up

10/9 (土)	オーケストラ・アンサンブル金沢	指揮：井上道義	ピアノ：奥井紫麻	フルート：松木さや	石川県立音楽堂コンサートホール
10/20 (水)	仙台フィルハーモニー管弦楽団	指揮：高関健	ピアノ：藤田真央		日立システムズホール 仙台・コンサートホール
11/3 (水・祝)	九州交響楽団	指揮：田中祐子	ピアノ：金子三勇士		熊本県立劇場コンサートホール
11/25 (木)	日本センチュリー交響楽団	指揮：飯森範親	ピアノ：松田華音		NHK大阪ホール

●お問い合わせ● ハローダイヤル TEL:050-5541-8600 9:00～20:00(無休)

コンサートホールで世界旅行!

週末の午後、音楽の翼によって渋谷から世界へ——極上のドリーム・ジャーニーへようこそ。



©高木ゆりこ

雄大なロシア～ユーラシアへ

第116回 2021 10/2 [土]

指揮:井上道義 ホルン:ラデク・バボラーク

ショスタコーヴィチ:ロシアとキルギス民謡の主題による序曲 作品115
グリエール:ホルン協奏曲 変ロ長調 作品91 *
リムスキー=ニコルサコフ:交響組曲「シェヘラザード」

好評販売中



©Lucie Čermáková



©Erik Berg

音楽の都オーストリア、ウィーンのニューイヤー

第117回 2022 1/8 [土]

指揮:ケリーリン・ウィルソン ソプラノ:森麻季

J.シュトラウスII:ワルツ「皇帝円舞曲」、ポルカ「雷鳴と稲妻」、
トリッチ・トランチ・ポルカ、ワルツ「美しく青きドナウ」
マーラー:交響曲 第4番 ト長調 *

MY 2021.9/25 [土]

一般 2021.9/26 [日]



©Yuji Hori



©Shin-Yamagishi

アメリカ!

第118回 2022 3/12 [土]

指揮:原田慶太楼 ピアノ:小曽根真

バーンスタイン(ジャック・メイソン編):「ウエスト・サイド・ストーリー」セレクション
ガーシュウィン:ラプソディ・イン・ブルー *
ロジャース&ハマースタインII:サウンド・オブ・ミュージック
ガーシュウィン:歌劇「ポーギーとベス」シンフォニック・ピクチャーズ

MY 2021.12/18 [土]

一般 2021.12/19 [日]



©Kazuyoshi Shimomura (AGENCE HIRATA)



©Felix Broede

ドイツ、初夏の風

第119回 2022 5/8 [日]

指揮:マレク・ヤノフスキ

ベートーヴェンを中心としたドイツ・プログラム
(曲目調整中)

MY 2022.3/5 [土]

一般 2022.3/6 [日]



©Felix Broede

フランス、パリ祭!

第120回 2022 7/9 [土]

指揮:沖澤のどか フルード:エマニュエル・パコ

ブーランク:パレエ組曲「雌鹿」
ブーランク(L.パークリー編):フルートソナタ(管弦楽伴奏版) *
フォーレ(L.オーベル編):幻想曲 作品79 *
ラヴェル:組曲「マ・メール・ロワ」、ラヴェル:ボレロ

MY 2022.4/23 [土]

一般 2022.4/24 [日]



©Josef Fischmaller licensed to EMI Classics

*印の曲はソリストと共に演奏いたします。

MY MY Bunkamura 先行発売日 一般 一般発売日

※シリーズ券で販売した券種は1回券でのお取扱いはいたしません。
(シリーズ券のお取扱いは終了いたしました)

1回券(税込) S¥8,800 A¥7,300 B¥5,700 C¥(完売)

●オンラインチケット MY Bunkamura <https://mybun.jp/n-orchard22>



(登録・システム利用料無料/PC・スマホ共通/座席選択可能)

●Bunkamura チケットセンター 03-3477-9999 (オペレーター対応/10:00~17:00)

※情報は2021年7月時点のものです。やむを得ない事情により、出演者・曲目・発売日が変更となる可能性があります。

※各種営業時間の変更となる可能性があります。詳しくはホームページでご確認ください。

<お問い合わせ> Bunkamura 03-3477-3244 (10:00~18:00) 主催:Bunkamura

美しい時代へ——東急グループ

慄然たるハルサイ

パーヴォ・ヤルヴィがN響と成し遂げた巨大なメルクマール。



ストラヴィンスキー 春の祭典 最新盤

パーヴォ・ヤルヴィ(指揮)
NHK交響楽団

■ 収録曲

- ストラヴィンスキー ① 幻想曲「花火」 作品4
② 幻想的スケルツォ 作品3 ③ ロシア風スケルツォ [管弦楽版]
④ 葬送の歌 作品5 ⑤ バレエ「春の祭典」(1947年改訂/1967年新版)

DSDレコーディング [録音] 2019年2月20日&21日 サントリーホールにおけるNHK交響楽団
第1908回定期公演(Bプログラム)でのライブレコーディング

ストラヴィンスキーの代表作「春の祭典」を中心に、ロシア/バリエーディアキレフ時代の先進的な意欲作を網羅。「音楽の進む道を変革した最大の問題作が「春の祭典」。先史時代の音絵巻とも言うべきこの作品の聴く者を圧倒するようなバーバリックな持ち味を現実の音にするには、N響の持つ精緻・明晰さ、そして、「信じがたいほどのパワフルさが必要」と自信に溢れたパーヴォ・ヤルヴィの言葉を裏付ける、一世一代の凄絶な名演奏です。

NOW ON SALE

ハイブリッドディスク HYBRID SICC 19055 ¥3,520(税込)

パーヴォ・ヤルヴィ | N響の名盤

絶賛発売中



R.シュトラウス: 交響詩チクルス

1 英雄の生涯&ドン・ファン
SICC 19003 ¥3,300(税込)



2 ドン・キホーテ、
ティル・オイレンシュピーゲル
& ばらの騎士
SICC 19020 ¥3,300(税込)



3 ツァラトゥストラはかく語りき
メタモルフォーゼン
SICC 10219 ¥3,300(税込)



ムソルグスキー

展覧会の絵&はげ山の一夜
SICC 19026 ¥3,300(税込)



マーラー

交響曲第6番「悲劇的」
SICC 19040 ¥3,520(税込)



ワグナー

楽劇「ニーベルングの指環」
管弦楽曲集
SICC 19043 ¥3,520(税込)



パーヴォ・ヤルヴィN響 | 20世紀傑作選

1 バルトーク

弦楽のためのディヴェルティメント・
舞踏組曲・弦楽器・打楽器・
チェレスタのための音楽
SICC 19042 ¥3,520(税込)



2 武満徹

管弦楽曲集
SICC 19045 ¥3,520(税込)



3 ストラヴィンスキー

3楽章の交響曲・カルタ遊び・
ミューズの神を率いるアポロ
SICC 19049 ¥3,520(税込)

今後の発売予定 20世紀傑作選⑤ **メシアン**: トゥーランガリラ交響曲



ブルックナー没後125年メモリアル・リリース

パーヴォ・ヤルヴィのライフワーク、ブルックナー全集、11年がかりでついに完成。

ブルックナー 交響曲全集 パーヴォ・ヤルヴィ &
(第10番~第9番) フランクフルト放送交響楽団

完全生産限定盤 HYBRID 10ハイブリッドディスク(SA-CD層は2chと5.1ch)
SICC 10331~40 ¥22,000(税込)

絶賛発売中

脱炭素の道へ。 水素とLPガスが加速する。



温暖化ガス排出実質ゼロ社会の実現を目指して。

イワタニはLPガス・^{マリンガス}Maruigasの全国販売ネットワークを活かし、脱炭素の主役となる水素を暮らしと産業にお届けする準備を進めています。

さらに、低炭素なLPガスの開発、廃プラスチックやバイオガス由来の水素やLPガス製造、新しいLPガス合成技術などを推進。

クリーンエネルギーのトップランナーとして走り続けます。

水素&LPガスシェアNo.1[※]

※国内における販売シェア(2021年5月現在、自社調べ)

Iwatani

岩谷産業株式会社